

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査結果について



令和元年8月

山口県教育庁義務教育課



# 目 次

1 教科に関する結果	P 1
(1) 全体の結果	P 1
(2) 各教科の結果	P 1
(3) 具体的な問題と解答状況	P 7
2 質問紙調査の結果	P 22
(1) 児童生徒質問紙	P 22
(2) 学校質問紙	P 33
3 学力向上に向けた今後の取組	P 42

## 《平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
  - ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
  
- 調査期日 平成31年4月18日（木）
  
- 調査方式 悉皆調査
  
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
  - 【小学校6年】 公立小学校277校、特別支援学校3校 10,967人
  - 【中学校3年】 公立中学校144校、中等教育学校1校、特別支援学校5校 10,412人
  
- 調査内容
  - ①教科に関する調査（小学校 国語、算数 中学校 国語、数学、英語）
    - ・調査問題では、下記1）と2）を一体的に問う。
      - 1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
      - 2) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
    - ・新たに中学校英語（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）の調査が行われた。（3年に1回の調査）
  - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
    - ・児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）
    - ・学校に対する調査（学校質問紙）

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

1 教科に関する結果

(1) 全体の結果

- 小学校では、国語は全国平均を上回り、算数は全国平均と同程度であった。
- 中学校では、国語、数学は全国平均を上回ったが、英語（「話すこと」調査を除く）は全国平均を下回った。

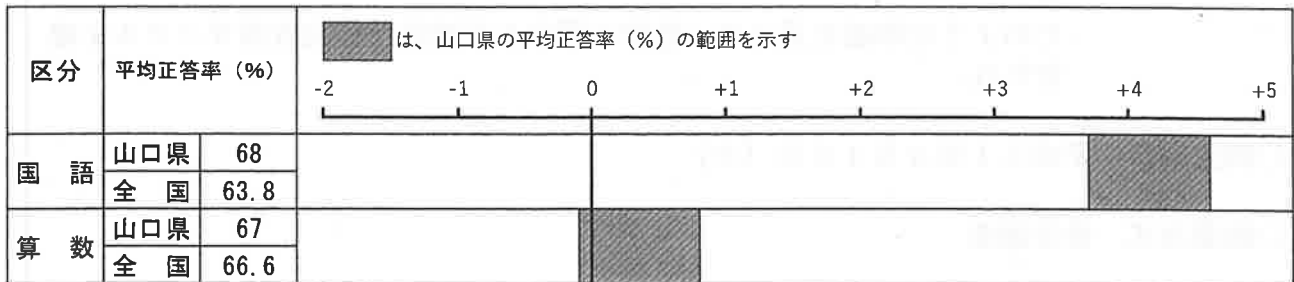
(2) 各教科の結果

①全国と本県の平均正答数、平均正答率の比較

※平成29年度から、都道府県等における各教科の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

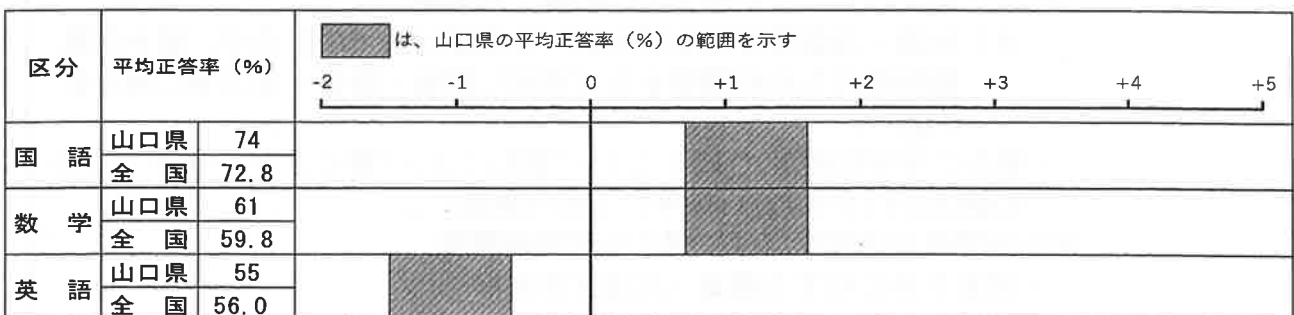
【小学校】

	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全国	山口県	全国
国語	9.5/14	8.9/14	68	63.8
算数	9.4/14	9.3/14	67	66.6



【中学校】

	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全国	山口県	全国
国語	7.4/10	7.3/10	74	72.8
数学	9.8/16	9.6/16	61	59.8
英語	11.6/21	11.8/21	55	56.0



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

○平成30年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	8.6/12	8.5/12	72	70.7
国語B	4.6/ 8	4.4/ 8	57	54.7
算数A	8.9/14	8.9/14	64	63.5
算数B	5.2/10	5.1/10	52	51.5
理 科	9.9/16	9.6/16	62	60.3

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.6/32	24.3/32	77	76.1
国語B	5.5/ 9	5.5/ 9	61	61.2
数学A	24.2/36	23.8/36	67	66.1
数学B	6.5/14	6.6/14	46	46.9
理 科	18.0/27	17.9/27	67	66.1

○平成29年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.4 / 15	11.2 / 15	76	74.8
国語B	5.2 / 9	5.2 / 9	58	57.5
算数A	11.8 / 15	11.8 / 15	79	78.6
算数B	5.0 / 11	5.1 / 11	45	45.9

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4 / 32	24.8 / 32	79	77.4
国語B	6.6 / 9	6.5 / 9	73	72.2
数学A	23.9 / 36	23.3 / 36	66	64.6
数学B	7.4 / 15	7.2 / 15	49	48.1

○平成28年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.2 / 15	10.9 / 15	74.6	72.9
国語B	5.9 / 10	5.8 / 10	58.7	57.8
算数A	12.5 / 16	12.4 / 16	78.4	77.6
算数B	6.3 / 13	6.1 / 13	48.1	47.2

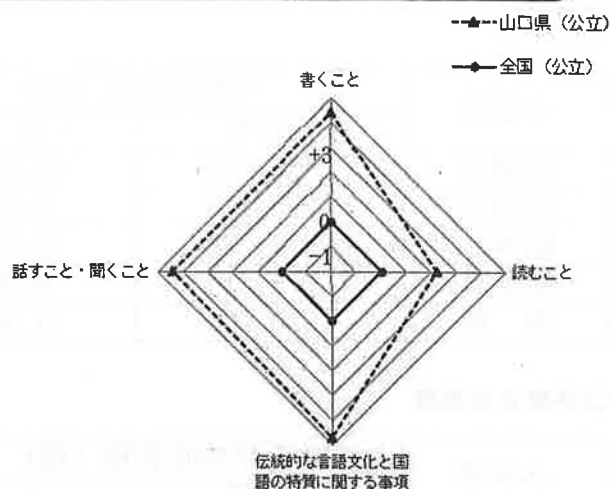
中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4 / 33	25.0 / 33	76.9	75.6
国語B	6.1 / 9	6.0 / 9	68.2	66.5
数学A	22.9 / 36	22.4 / 36	63.6	62.2
数学B	6.8 / 15	6.6 / 15	45.0	44.1

## ②領域別平均正答率

### 【小学校 国語】

全ての領域で全国平均を上回っている。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均を4ポイント以上上回っている。

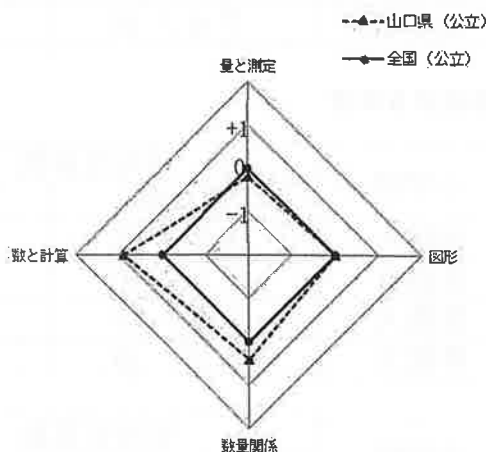
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14	山口県	全国	
話すこと・聞くこと	3	76.7	72.3	+4.4
書くこと	3	58.9	54.5	+4.4
読むこと	3	83.9	81.7	+2.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	58.2	53.5	+4.7



### 【小学校 算数】

「数と計算」「数量関係」については、全国平均を上回り、「図形」については全国と同程度である。「量と測定」については、全国平均を0.2ポイント下回っている。

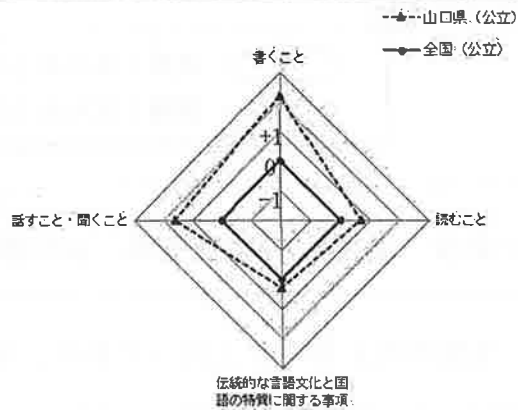
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14	山口県	全国	
数と計算	7	64.1	63.2	+0.9
量と測定	3	52.7	52.9	-0.2
図形	2	76.7	76.7	0.0
数量関係	7	68.7	68.3	+0.4



### 【中学校 国語】

全ての領域で全国平均を上回っている。特に、「書くこと」については、全国平均を2.2ポイント上回っている。

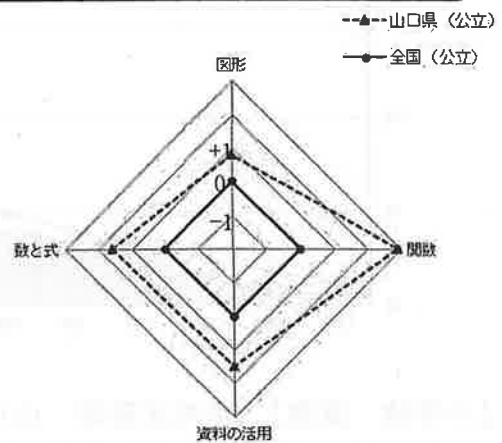
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	10			
話すこと・聞くこと	3	71.8	70.2	+1.6
書くこと	2	84.8	82.6	+2.2
読むこと	3	72.9	72.2	+0.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	68.0	67.7	+0.3



### 【中学校 数学】

全ての領域で全国平均を上回っている。特に、「関数」については、全国平均を2.9ポイント上回っている。

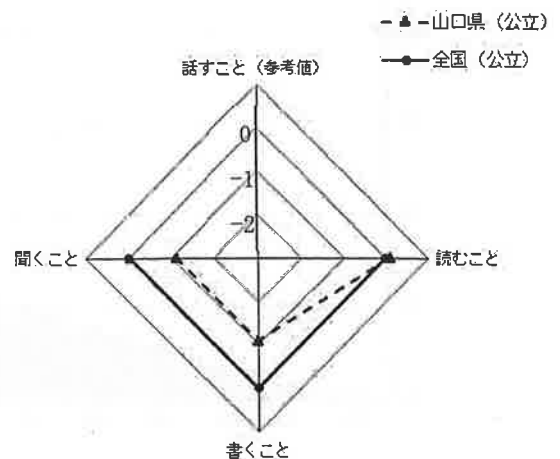
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	16			
数と式	5	65.4	63.8	+1.6
図形	4	73.2	72.4	+0.8
関数	3	43.7	40.8	+2.9
資料の活用	4	57.8	56.3	+1.5



### 【中学校 英語】

「読むこと」については、全国平均と同程度であるが、「聞くこと」「書くこと」については、全国平均を1.1ポイント下回っている。

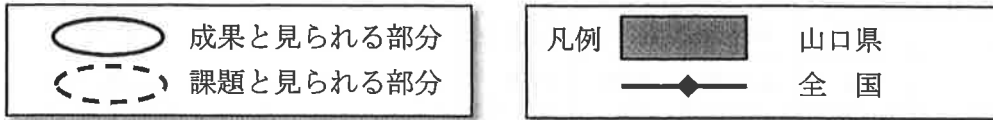
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	21			
聞くこと	7	66.8	67.9	-1.1
話すこと(参考値)	—	—	—	—
読むこと	6	55.7	55.6	+0.1
書くこと	8	44.7	45.8	-1.1



### ③正答数分布

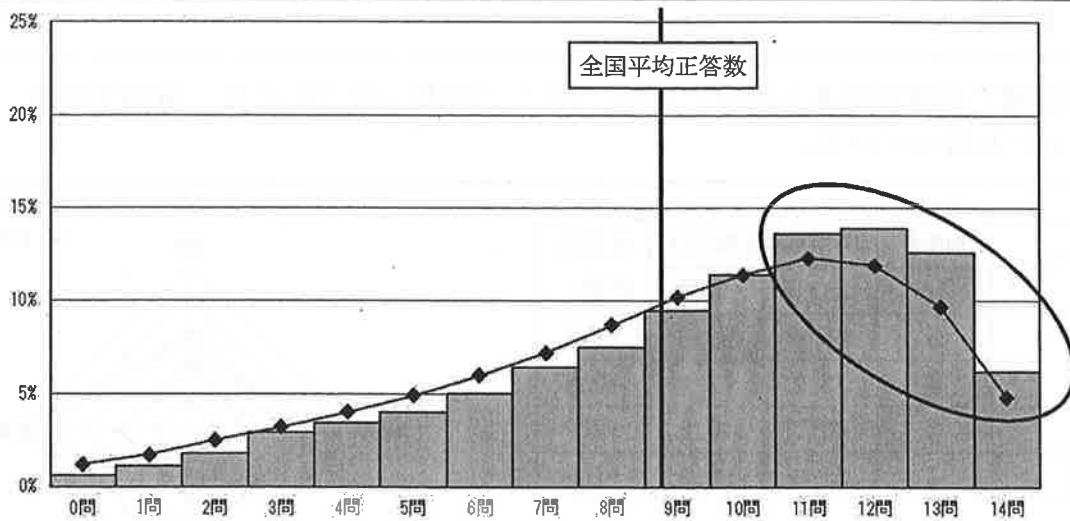
[グラフについて]

横軸は児童生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童生徒の割合(%)を示している。



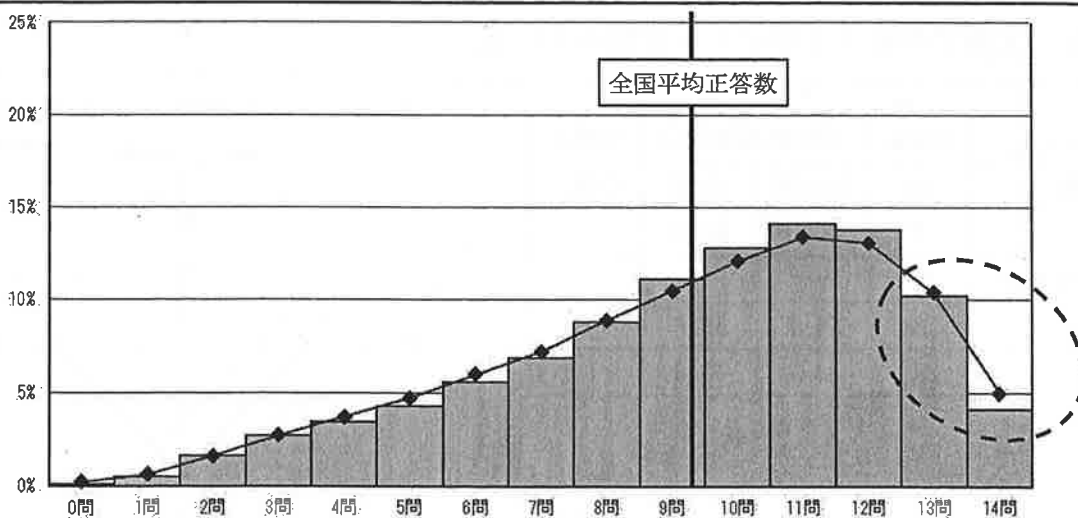
【小学校 国語】(平均正答率 山口県 68%、全国 63.8%)

全国平均正答率を上回っており、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高い。



【小学校 算数】(平均正答率 山口県 67%、全国 66.6%)

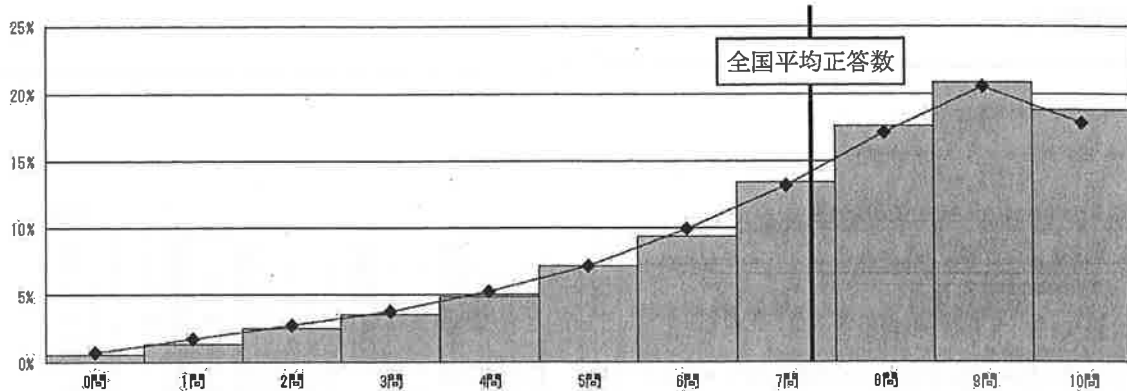
全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ全問正答の児童の割合がやや低い。





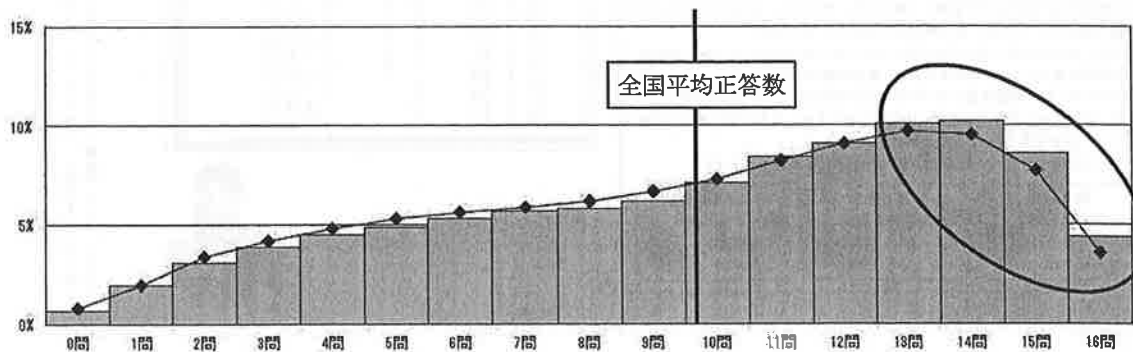
【中学校 国語】（平均正答率 山口県 74%、全国 72.8%）

全国平均正答率を上回っているが、全国の正答数分布と同様である。



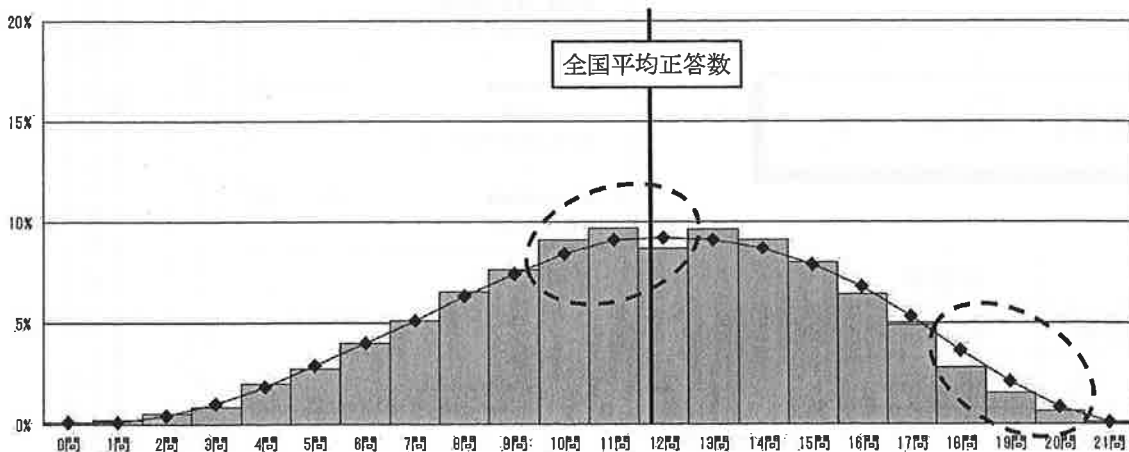
【中学校 数学】（平均正答率 山口県 61%、全国 59.8%）

全国平均正答率を上回っており、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。



【中学校 英語】（平均正答率 山口県 55%、全国 56.0%）

全国平均正答率を下回っており、全国平均正答数より少ない正答数の生徒の割合がやや高く、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや低い。



(3) -① 具体的な問題と解答状況 一小学校国語一

○相当数の児童ができている点

○ 「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと」について、正答率が高い。

2二

【資料】食べ物の保存について書かれた本のページ

**食べ物**を保存する

◆ **食べ物は生命の源**  
 生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。  
 例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさんの食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。  
 わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運ぶ大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまふこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

◆ **保存のふしぎ**  
 食べ物がくさる主な原因は、食べ物をくさらせる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。  
 では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出すはたらきがあるので、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。  
 これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

<b>塩を使う</b> ・山菜の塩づけ ・豚肉の塩づけ ・魚の塩づけ	<b>砂糖を使う</b> ・果物の砂糖づけ ・ジャム	<b>かんそうさせる</b> ・切り干し大根 ・かんぴょう ・こんぶ
---	----------------------------------	---

**食べ物**の保存について

「食べようと思っただけ」  
 春休みに、祖母から梅干しをもらったが、それが十年前に作られたものだぞと知りおどろいた。十年もたつのになぜ食べられるのかと聞く。塩づけにしたり干したりしているからだといふことだった。昔の人はくふうして食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思ったこと

① なぜ食べ物塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。  
 ② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。  
 調べて分かったこと

① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、  
 理由は、  
 イ



2  
 宮原さんの手帳では、身近な食べ物について疑問に思ったことを調べ、友達と紹介し合ふことになりました。次は、宮原さんの「フートの一部」と宮原さんが選んだ「資料」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

フートの一部

【正答】 2 二 2

	正答率
山口県	91.3%
全国	88.5%

【目次の一部】

第2章 梅干し	
○ 梅干しはどこからきたのか …… 40ページ ①	・梅干しの起源
○ はじめてでも簡単!おうちで梅干し …… 55ページ ②	・梅と塩、道具の選び方 ・作り方の手順とポイント
○ 梅干しの活用術 …… 67ページ ③	・いわしの梅煮 ・わかめと梅干しのスープ
○ 梅干しの豆知識 …… 77ページ ④	・故事とことわざ

「知りたいこと」  
 梅干しを作るには、塩はどのくらい必要で、いつ入れたらいいのかな。



二 宮原さんは、食べ物の保存について調べたあと、自分でも梅干しを作ろうと思ひ、必要な情報が書かれていそうな本を選びました。次は、「知りたいこと」と本の「目次の一部」です。宮原さんが読むページとして、最も適切なものを、あとの①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

●課題の見られる点

● 「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと」について、課題が見られる。

1 三

1 公共電話について

はじめに  
先日外出したときに、家に電話をかけたようど近くの店に行くこと  
あったはずの公共電話がなくなっていて、こまづきしてしまいました。  
また、よく行く公園の公共電話も、いつの間にかなくなっていました。  
わたしは、公共電話の数が減っているのではないかと、思い  
町の公共電話の数を調べてみることにしました。それと並行して  
ものが(資料1)です。平成二十年頃から二十九年までの十年  
間で、約半分にまで減っていることが分かりました。  
そこで、公共電話は、わたしたちにとって必要がなくなっ  
てしまったのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公共電話はどのようなときに必要なのか  
多くの人から「けいたい電話を持つ中で、公共電話が必要とされ  
ているのかどうかを調べてみることにしました。  
そこで、地元の三十人調査の「ア」のようにして、公共  
電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと  
回答しました。その理由をまとめたものが(資料2)です。  
「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が  
切れたときに必要」などの回答がありました。  
このことから、公共電話は、主に「けいたい電話を使うことが  
できないときに必要とされている」ということが分かりました。  
(2) 公共電話にはどのような使い方があり、どのような場  
所にあるのか  
公共電話について書かれた資料を調べてみると、公共電話には、  
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホン  
カードがなくても通報することができます。  
・件電のときでも、硬貨を使って通話することがあります。  
・電話が混み合っているときでも、優先的につなぐことができます。  
このように、公共電話は、きん急のときにも使うことができると  
いうことが分かりました。  
(3) 公共電話はどのような場所にあるのか  
公共電話を必要とするときに使うことができるようにするため  
には、どのような場所に設置されているのかを調べて知って  
おくことが大切だと思ったので、わたしは、公共電話の設置  
場所を調べてみることにしました。実際に町を歩いて調べた  
ものが(資料3)です。  
この資料から、公共電話は、主に病院や学校、駅などの多くの  
人が集まる場所にあるということが分かりました。  
調査の結果をもとに考えたこと  
調査の結果から、公共電話は、わたしたちにとって必要が  
なくなってしまうわけではなく、わたしは「なぜなら、  
また、公共電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ  
行けば見つけやすいのではないかと、いうことも考えました。  
今回の調査を通して知ったことを、学風の友達に「いかに  
多くの友達に伝え、公共電話について、わたしの考えをもちたい  
と思います。」

高橋 めぐみ

高橋さんの手紙では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することに  
しました。高橋さんは、公共電話について調べています。次は、高橋さんが書いて  
いる「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「報告する文章」

〈資料1〉  
公共電話設置台数の推移(単位:万台)

昭和20年	300
昭和21年	250
昭和22年	200
昭和23年	180
昭和24年	160
昭和25年	150
昭和26年	140
昭和27年	130
昭和28年	120
昭和29年	110
昭和30年	100

〈資料2〉  
公共電話が必要とされる理由(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電費がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつかないときに必要	3人
その他	5人

〈資料3〉  
公共電話の設置場所を示した地図



【正答例】 1 三

(「なぜなら、」) 公しゅう電話は、主にけいたい電話を使うことができな  
ないときに必要とされていたり、きん  
急のときにも使うことができたりす  
るからです。(68字)

	正答率
山口県	33.9%
全国	28.8%

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の  
(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。  
合わせて書きましょう。

〈条件〉

○「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの  
言葉は字数にふくむ。

※友の原稿用紙は書き用紙なので、後でも使わなくてもかまいません。原稿は、原稿用紙に書きましょう。  
※の印から書きましょう。どちらの行を寛文などで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公共電話は、わたしたちにとって  
必要がなくなってしまうわけではなく、考えました。  
なぜなら、

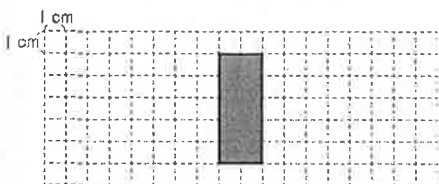
40字

(3) -② 具体的な問題と解答状況 一小学校算数一

○相当数の児童ができている点

○ 「台形について理解すること」について、正答率が高い。

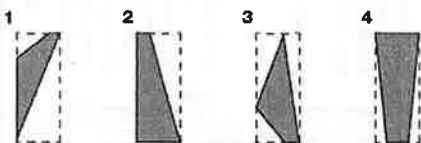
1 (1) 下のような長方形の紙 ( ) があります。方眼紙は、1目もり1cmです。



(1) ゆうたさんは、上のような長方形の紙を直線で切って、下の1から4までの図形をつくりました。

下の1から4までの中で、台形はどれですか。

2つ選んで、その番号を書きましょう。



【正答】 1 (1) 2、4

	正答率
山口県	93.5%
全国	93.1%

○ 「棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること」について、正答率が高い。

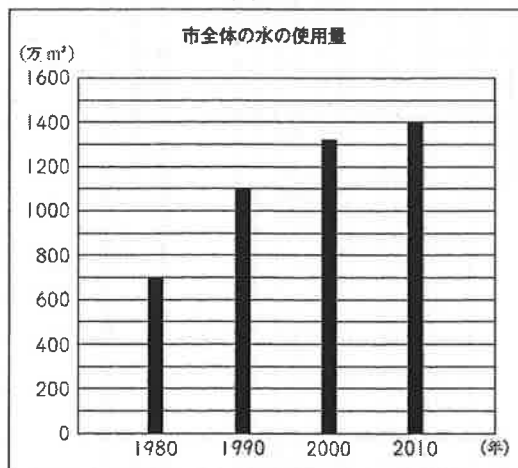
2 (1)

かいとさんたちは、水を大切に使用しているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけました。

(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、グラフ1からどのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

グラフ1



- 1 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

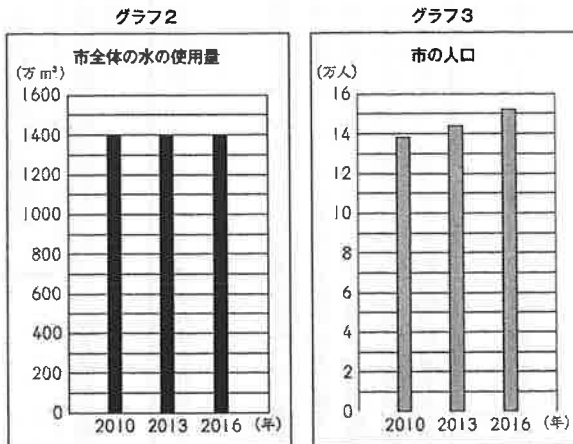
【正答】 2 (1) 3

	正答率
山口県	95.3%
全国	95.2%

●課題の見られる点

● 「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること」について、課題が見られる。

2 (3) (3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

	正答率
山口県	49.7%
全国	52.1%

【正答例】2 (3) 【番号】1 【わけ】1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。

● 「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること」について、課題が見られる。

	正答率
山口県	32.3%
全国	31.1%

3 (2)

ことねさんは、 $400 \div 25$  や  $90 \div 18$  のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$400 \div 25 = \square$

↓ ×4      ↓ ×4

$1600 \div 100 = 16$

↘ 変わらない

だから、 $400 \div 25$  の答えの  $\square$  は、16です。

---

$90 \div 18 = \square$

↓ ÷9      ↓ ÷9

$10 \div 2 = 5$

↘ 変わらない

だから、 $90 \div 18$  の答えの  $\square$  は、5です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の□の中、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

【正答例】3 (2) わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

(3) -③ 具体的な問題と解答状況 ー中学校国語ー

○相当数の生徒ができている点

○ 「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと」について、正答率が高い。

1 三

**みんなの短歌**

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝

中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ

中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と

中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く

中三 松田 花子

【正答例】 1 三

A

「新しい」と「背筋伸ばして始まりを待つ」という表現から、新年度の最初の授業の始まりを、期待と不安が混ざった気持ちで待っている様子が想像できます。新年度を迎えると、皆気持ちを引き締めたり決意を新たにしたりするものです。

※ その他、短歌の中からいずれか一首を選び、選んだ短歌の中の言葉を適切に取り上げて、感じたことや考えたことを具体的に書いていれば正答となる。

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び（どの短歌を選んでかまいません）、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、「選者より」を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

	正答率
山口県	92.5%
全国	91.2%

●課題の見られる点

● 「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと」について、課題が見られる。

2 三

この際、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少いながらも寂しさを感じたり、寂さに気付かずじっとしている方がいることを知りました。文化祭には、何年、高齢者がたくさんいらっしゃると思います。ですから、体育館へ向かう通路などに、「寂さに気を付けてください」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん 山下さん

ネットにそのようなニュースが載っているんですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、掲示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。寂さへの注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合いがないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に存在しているので、戻る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん 山下さん

昔です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回決めたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

（議題）  
 ① 地域とのつながりを大切にした文化祭にするためのこと  
 ② 生徒会が地域で行っていること  
 ③ 高齢者向けの施設での交流会の様子  
 ④ 地域の清掃活動の様子  
 ⑤ 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

倉田さん 西野さん 山下さん

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

2 第一中学校の生徒会委員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にした文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（場面①から場面⑤は、連続した場面です。）

場面①  
 「話し合いの一部」

三 場面⑤の A で山下さんは、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、要領に添って書きなさい。

条件1 話し合いの席を離れて、「どうするか決まっていないうこと」とは何かを明確にし書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていないうこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

なお、読み流して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【正答例】 2 三

三 校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどのように直すのかについてです。

私は、文化祭に来てくださる方に対しては、「ここで靴を脱いでお上がりください。」のように直すとよいと思います。皆さんはどう思いますか。

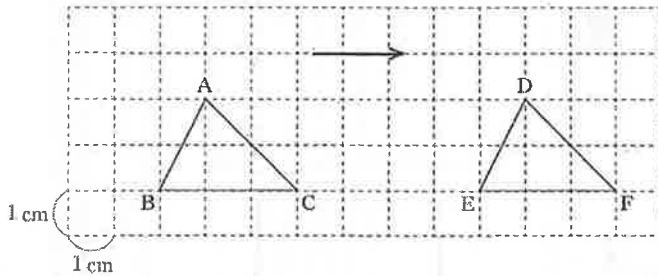
	正答率
山口県	61.9%
全国	60.4%

(3) -④ 具体的な問題と解答状況 -中学校数学-

○相当数の生徒ができている点

○ 「平行移動の意味を理解すること」について、正答率が高い。

3 下の図で、 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に平行移動したものです。 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に何 cm 平行移動したのですか。その移動の距離を求めなさい。



【正答】 3 7 cm

	正答率
山口県	84.4%
全国	83.6%

○ 「反例の意味を理解すること」について、正答率がやや高い。

7(2)

(2) 真由さんは、前ページの予想1の正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えることを考え、次のことを予想しました。

予想2

平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。

しかし、右の図2のような場合があることから、上の予想2が成り立たないことに気づきました。

図2

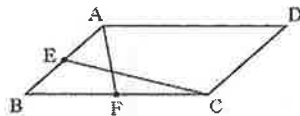


図2には下の特徴があることから、図2を用いて予想2が成り立たないことを示すことができます。

図2は、予想2の「平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺( )の中点をFとする」ということを ① 。

また、図2は、予想2の「 $AF = CE$ になる」ということを ② 。

上の ① と ② に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア ①：みたしている ②：みたしている
- イ ①：みたしている ②：みたしていない
- ウ ①：みたしていない ②：みたしている
- エ ①：みたしていない ②：みたしていない

【正答】 7 (2) イ

	正答率
山口県	78.0%
全国	77.2%



●課題の見られる点

● 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」について、課題が見られる。

	正答率
山口県	34.3%
全国	34.7%

6 (2) 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000円	100000円	150000円
1年間あたりの電気代	15000円	11000円	6500円

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」  
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」  
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

【正答例】6 (2) <ア>を選択した場合  
>冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。  
ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

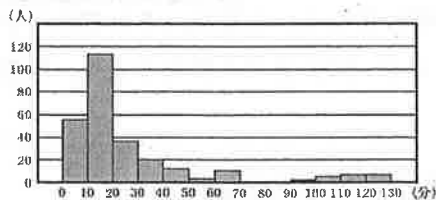
● 「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」について、課題が見られる。

8 (2) (2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」  
桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

	正答率
山口県	42.7%
全国	40.8%

【正答例】8 (2) 1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

(3) -⑤ 具体的な問題と解答状況 —中学校英語—

○相当数の生徒ができている点

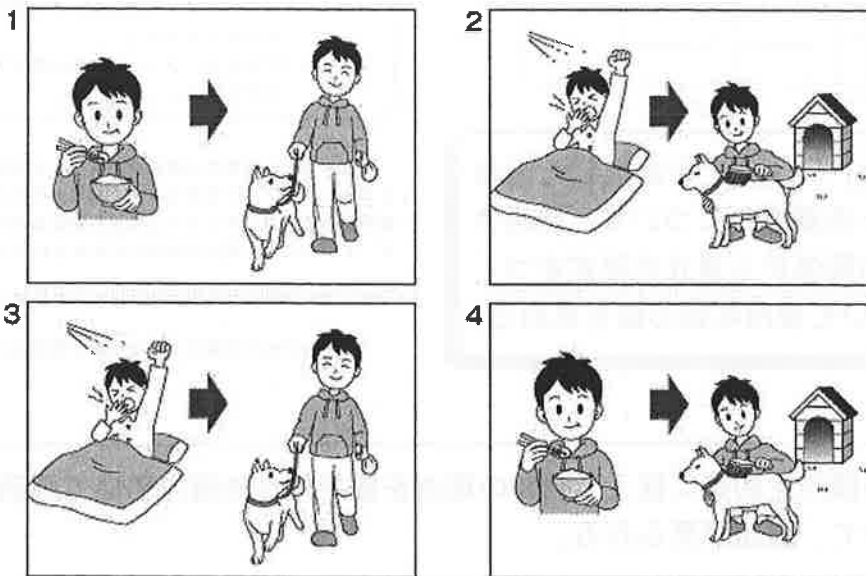
「聞くこと」

○ 「語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ること」について、正答率が高い。

1 (1) 1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



H31 中学校・英語 「聞くこと」 スクリプト

問題は、1 から 4 まであります。英文が流れる回数は、全て1回です。注意して聞いてください。メモは、問題用紙の空いている場所に自由にとってもかまいません。解答は、全て英語の解答用紙に記入してください。それでは、1 から始めます。1 ページを開けてください。

1 話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。問題は(1)から(4)まで4問あります。解答時間はそれぞれ15秒です。それでは始めます。

(1) I get up at six every Sunday and take my dog for a walk.

【正答】 1 (1) 3

	正答率
山口県	90.5%
全国	91.1%

「読むこと」

- 「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること」について、正答率が高い。

5 (1) 5

(1) 次の英文を読んで、( ) 内に入る最も適切な語 (句) を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

People go to ( ) when they want to borrow books.  
You can read books or study there.

1 hospitals      2 libraries      3 book stores      4 restaurants

【正答】 5 (1) 2

	正答率
山口県	81.8%
全 国	79.4%

「書くこと」

- 「一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くこと」について、正答率がやや高い。

9 (2)①

(2) 次の①, ②について, 例を参考にしながら, 必要があれば ( ) 内の語を適切な形に変えたり, 不足している語を補ったりなどして, それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。

(例) <放課後に図書室で>

A : Can you help me now?

B : Sorry, I ( do ) my homework now.

[答え] am doing

① <朝の通学路で>

A : I watched a baseball game yesterday. It was so exciting.

B : Oh! ( like ) baseball?

A : Of course, I love playing and watching baseball.

【正答例】 9 (2)① Do you like

	正答率
山口県	74.7%
全国	73.6%

●課題のある点

「聞くこと」

- 「聞いて把握した内容について、適切に応じること」について、課題が見られる。

4

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

---

4 英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。解答時間は1分30秒です。それでは始めます。

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

解答をやめてください。以上で、「聞くこと」のパートを終わります。

【正答例】 4 You can try the judo club.

	正答率
山口県	5.5%
全国	7.6%

「読むこと」

- 「まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解すること」について、課題が見られる。

7

- 7 中学生の一郎は、スミス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の ( ) 内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.

Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.

Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!

Ichiro: OK.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ( ).

Ms. Smith: Right. That is the main point.

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

【正答】 7 1

	正答率
山口県	30.8%
全国	32.8%

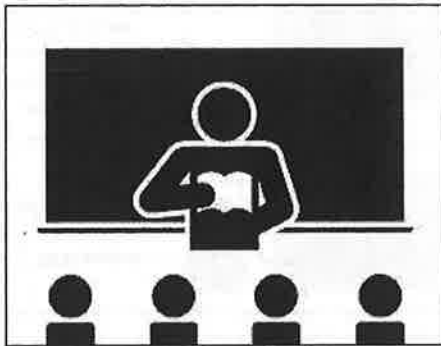
「書くこと」

- 「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと」について、課題が見られる。

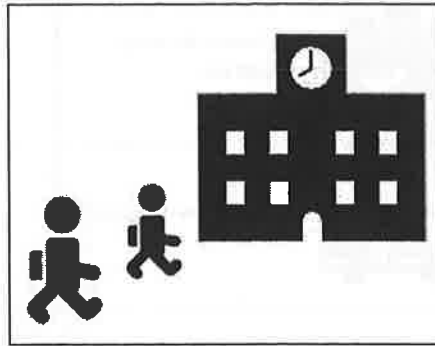
10

**10** 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

【 A 】



【 B 】



※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 ( , や ? など) は語数に含めません。

(例)        No,        I'm        not.        【3語】

【正答例】 10

I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library. (32語)

	正答率
山口県	1.4%
全国	1.8%

[参考]  
「話すこと」(合計 5問)

1 H31 中学校・英語 「話すこと」スクリプト

※両面の説明や発音の練習等については省略

これから、「話すこと」の録音を始めます。問題は5問あります。問題音声が出る回数は、全て1回です。解答は、全て英語ではっきりと話してください。

大問1 これから画面上にイラストが表示されます。そのあと、イラストについての質問に英語で答えてください。問題は、(1)から(3)まであります。それでは始めます。

7

7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



(1) When is her birthday?  
(解答時間 6秒)




(2) What are they doing?  
(解答時間 6秒)



(3) How does he come to school?  
(解答時間 7秒)

3

大問3 あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。(考える時間1分)  
それでは、30秒で話してください。(解答時間30秒)



話してほしい内容  
(1) 2分間で話してください。

① あなたは成りたい職業、または、将来やってみたいことを、両親の夢や希望と対比して話してください。

これで、調査は終わりです。

2

ユイコ あなた アラン先生




大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。



A: Look at this picture of my family.

A: This is my favorite picture.  
Y: Nice! Who is she?  
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.  
Y: I see. What kind of work does your mother do?  
A: She is a teacher.



A: Do you have any other questions about them?  
(解答時間 20秒)



参考値 (全国) 1 (1) 27.3%

(2) 44.7%

(3) 25.7%

2 10.5%

3 45.8%

【正答】

1 (1) It's July second. (2) They are watching TV. (3) He comes to school by bus.

2 What kind of food does your brother cook?

3 I want to be a farmer and grow delicious vegetables. My grandfather is a farmer, so I will help him and learn many things from him.



## 2 質問紙調査の結果

### (1) 児童生徒質問紙

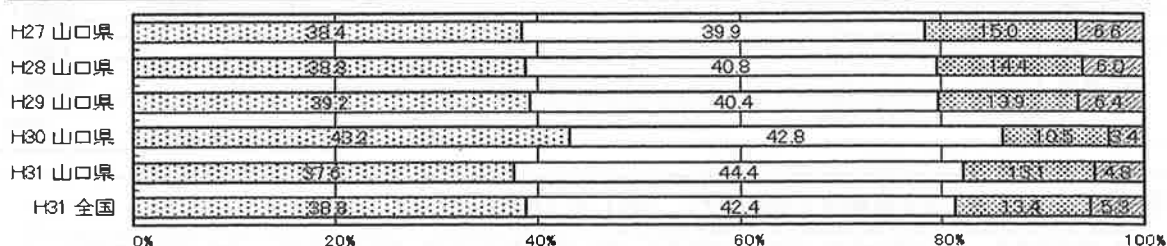
#### ① 子どもの意識

##### ア 自分にはよいところがある

- 自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合は、前年度より減少しており、特に小学校は全国と比べて低い。

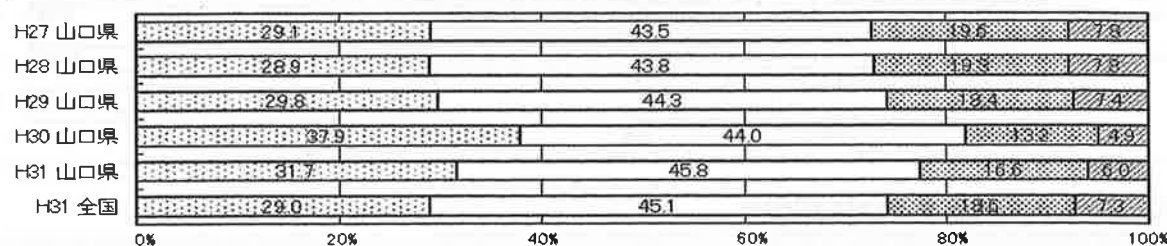
#### 【小学校】 (5)自分には、よいところがあると思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



#### 【中学校】 (5)自分には、よいところがあると思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

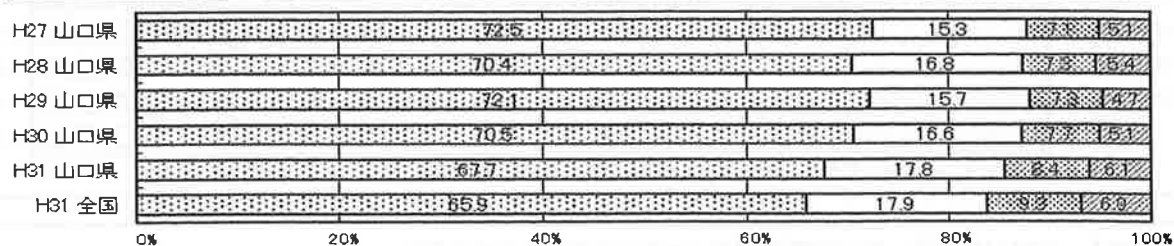


##### イ 将来の夢や目標を持っている

- 将来の夢や目標を持っていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。

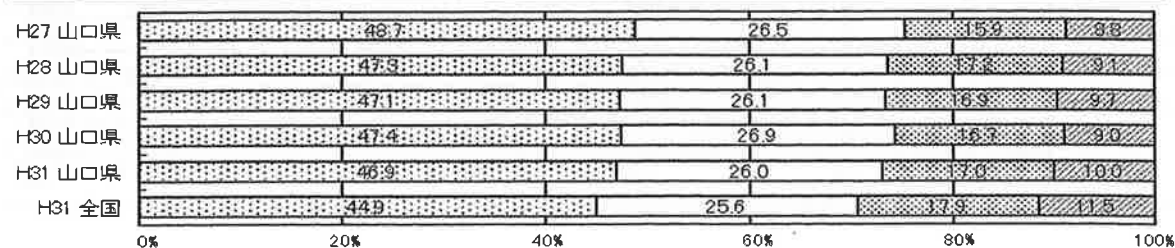
#### 【小学校】 (8)将来の夢や目標を持っている

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



#### 【中学校】 (8)将来の夢や目標を持っている

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

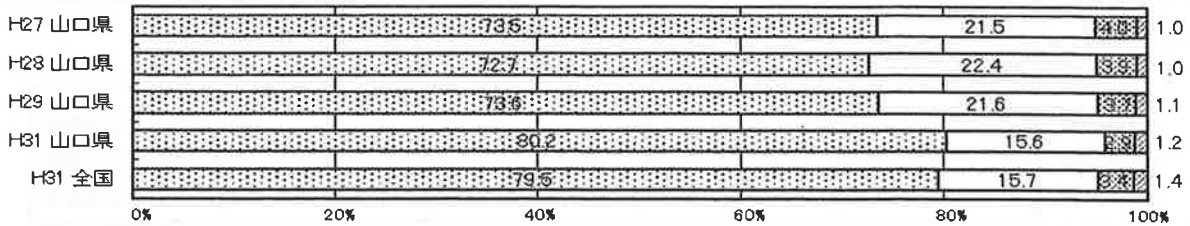


ウ ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある

○ ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがあると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。

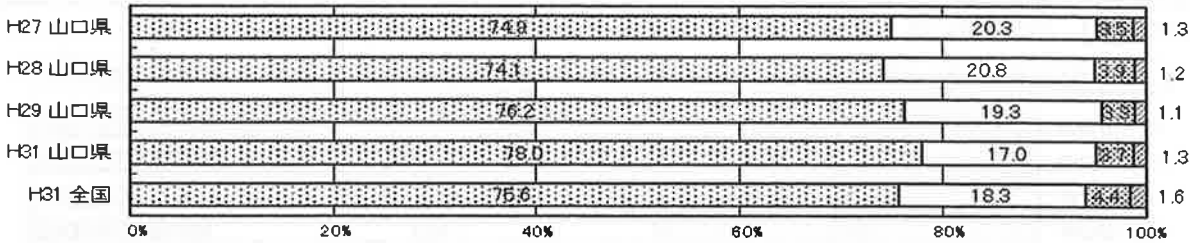
【小学校】 (9)ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (9)ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

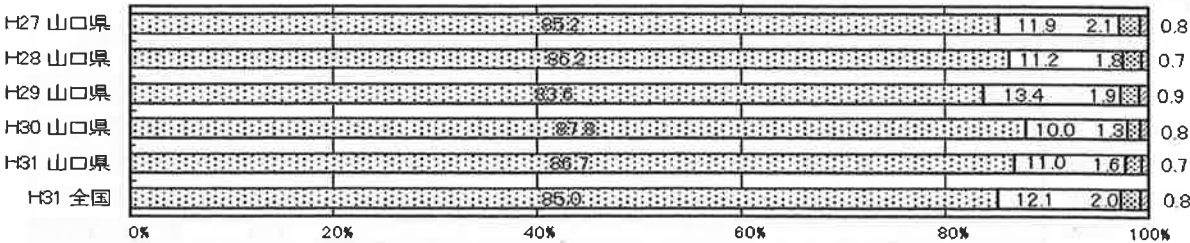


エ いじめは絶対にいけない

● いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

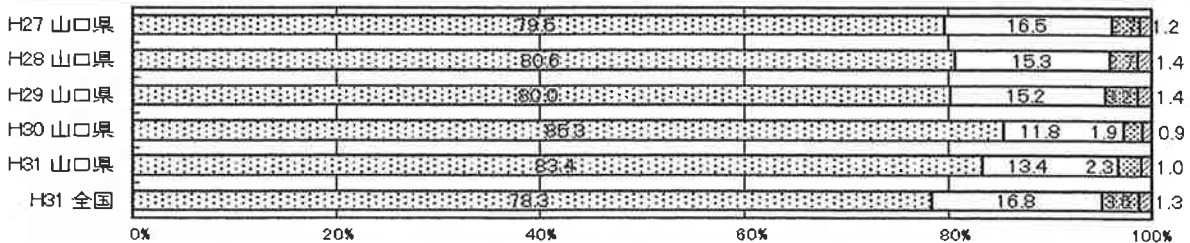
【小学校】 (15)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (15)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

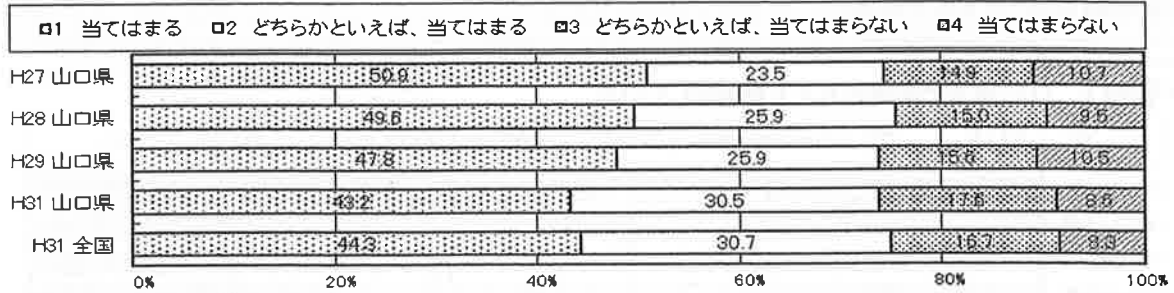
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



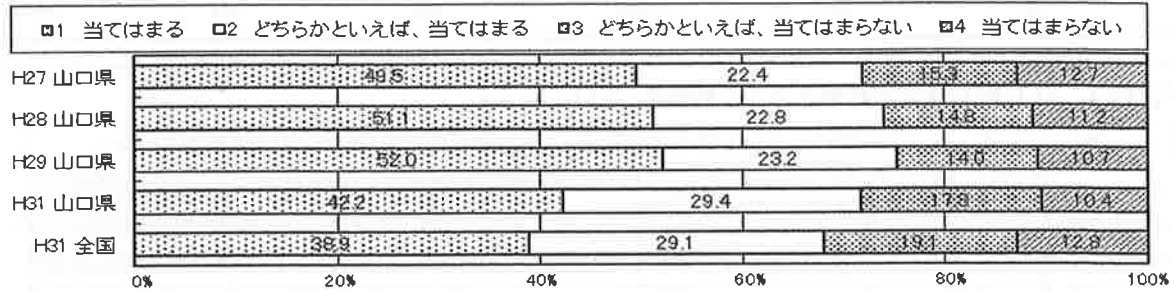
## オ 読書は好きだ

- 読書が好きだという子どもの割合は、小学校において減少傾向が見られ、中学校において前年度より減少している。

### 【小学校】 (21)読書は好きだ



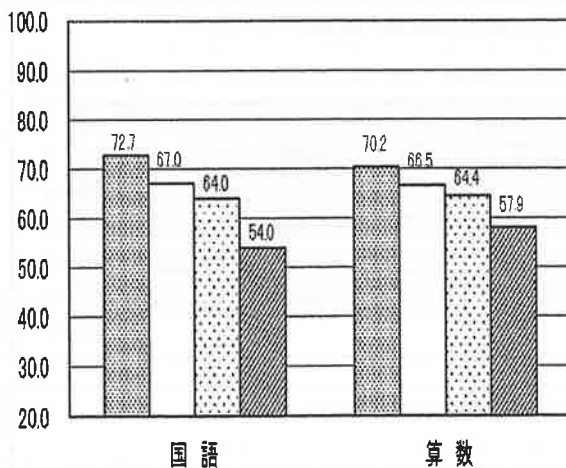
### 【中学校】 (21)読書は好きだ



## [教科の正答率との関係]

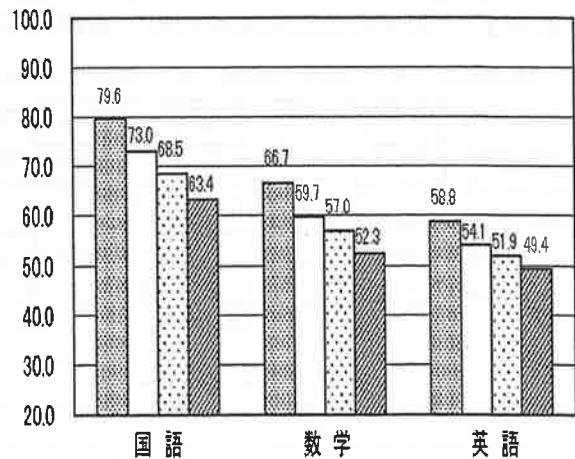
### 【小学校】 読書が好きだ

- 当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



### 【中学校】 読書が好きだ

- 当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

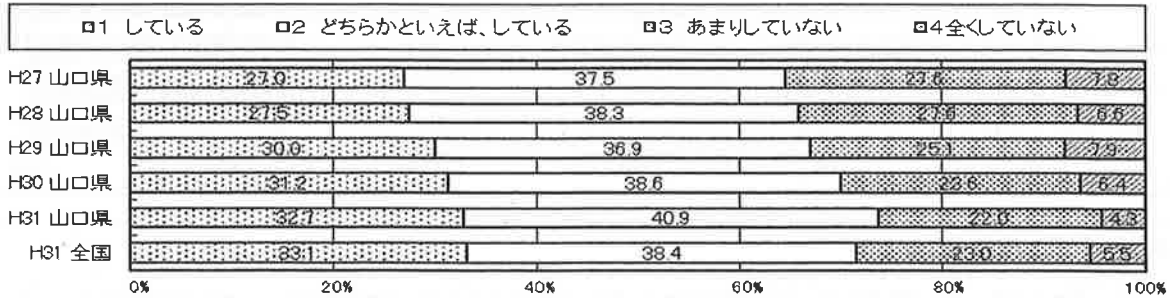


## ② 学習習慣・教師との関係・ICT

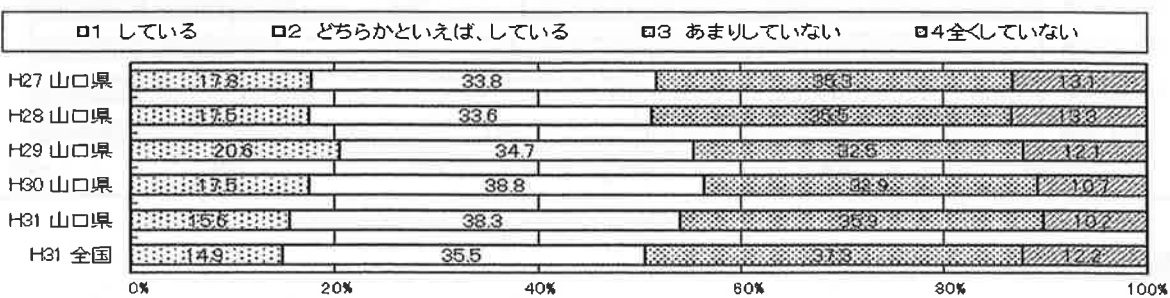
### ア 自分で計画を立てた学習

- 小学校では、家で自分で計画を立てて勉強している、または、どちらかといえばしていると回答した児童の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。
- 中学校では、全国と比べて高いものの、前年度より減少しており、全くしていないと回答した生徒の割合は10.2%である。

#### 【小学校】 (17)自分で計画を立てて勉強をしている



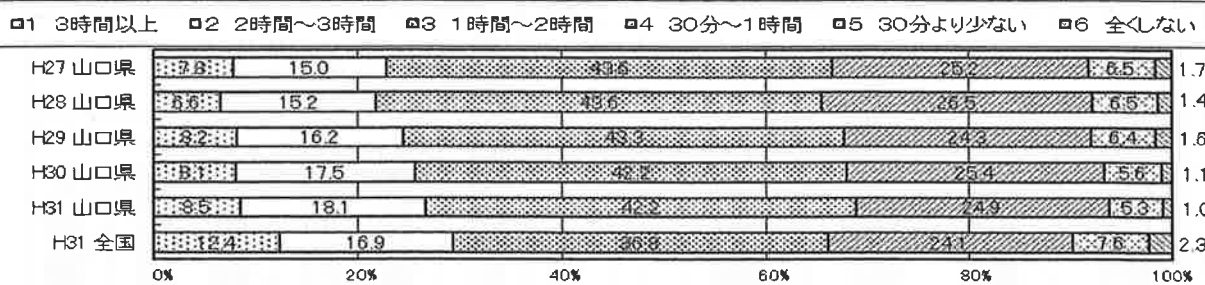
#### 【中学校】 (17)家で自分で計画を立てて勉強をしている



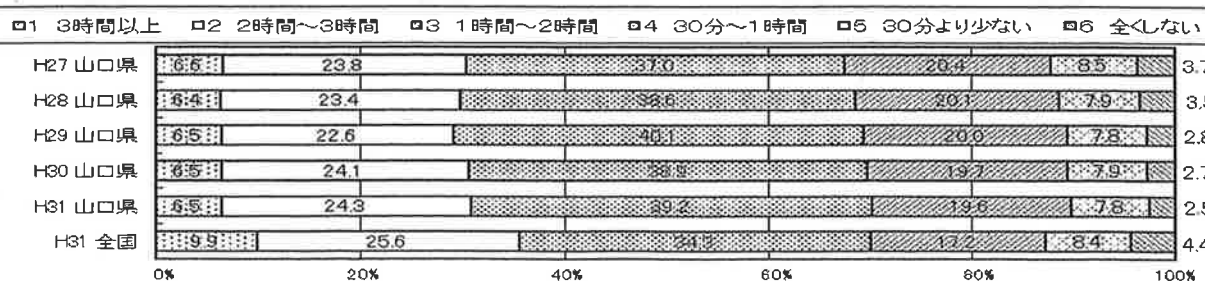
### イ 平日の学習時間

- 学校の授業時間以外に、平日、1日当たりに1時間以上勉強する児童生徒の割合は全国と比べて高いが、2時間以上勉強する児童生徒の割合は、増加傾向にあるものの、全国と比べて低い。

#### 【小学校】 (18)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しているか



#### 【中学校】 (18)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しているか

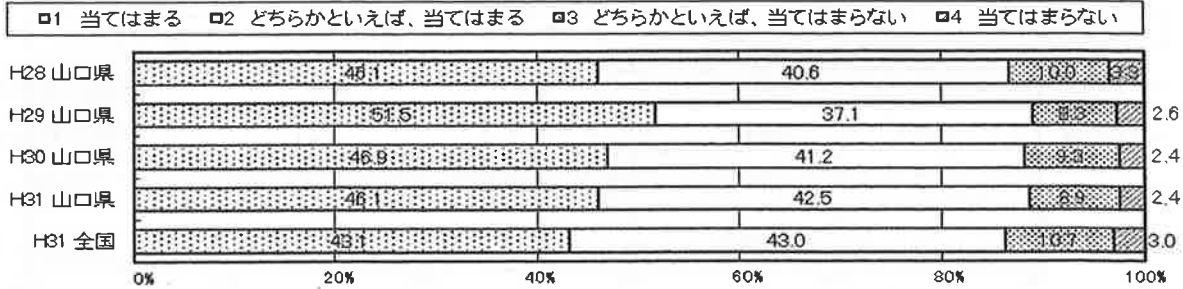




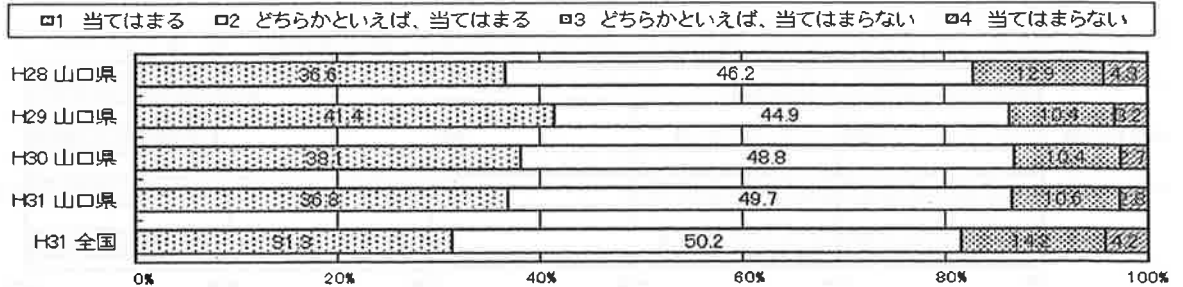
## ウ 先生はよいところを認めてくれる

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。

### 【小学校】 (6) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



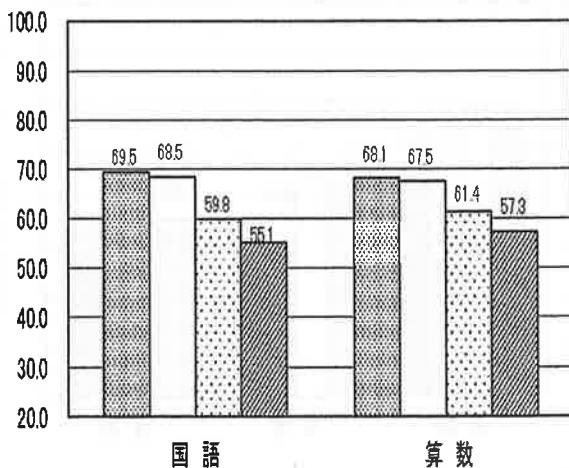
### 【中学校】 (6) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



## [教科の正答率との関係]

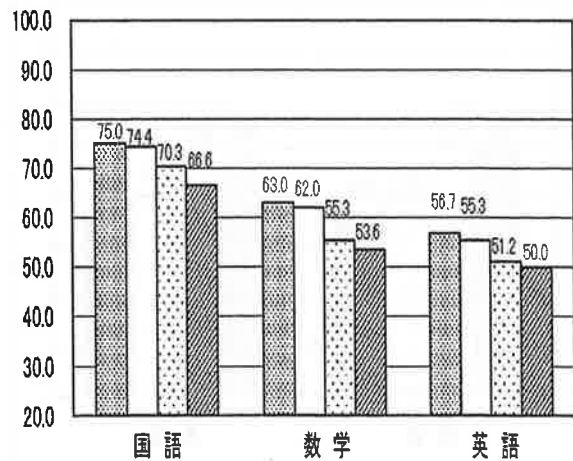
【小学校】 先生は、よいところを認めてくれる

- 当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



【中学校】 先生は、よいところを認めてくれる

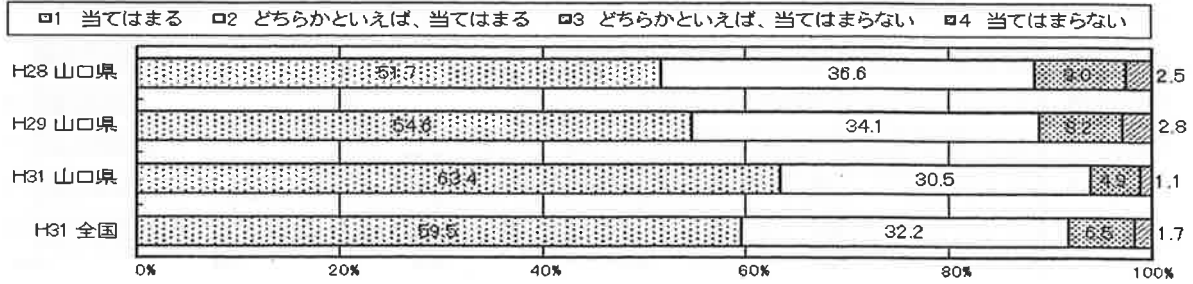
- 当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



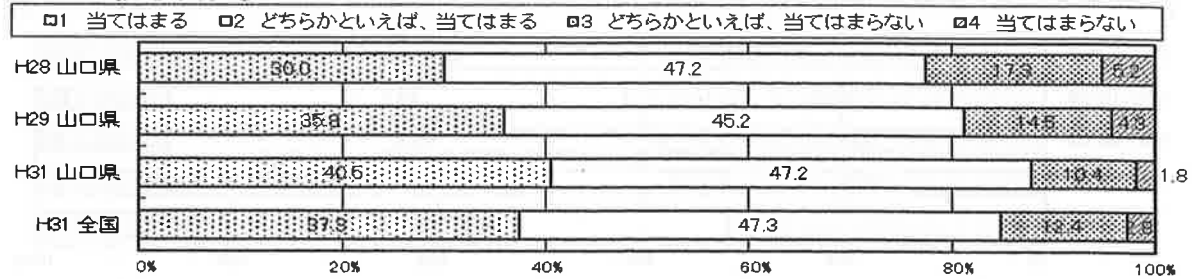
## エ 先生は分かるまで教えてくれる

○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。

【小学校】 (7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる



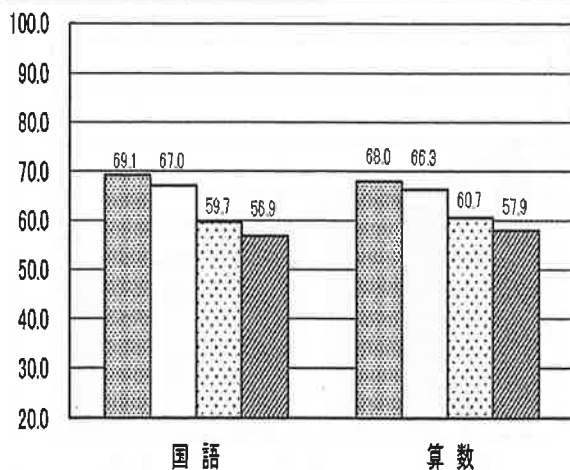
【中学校】 (7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる



## [教科の正答率との関係]

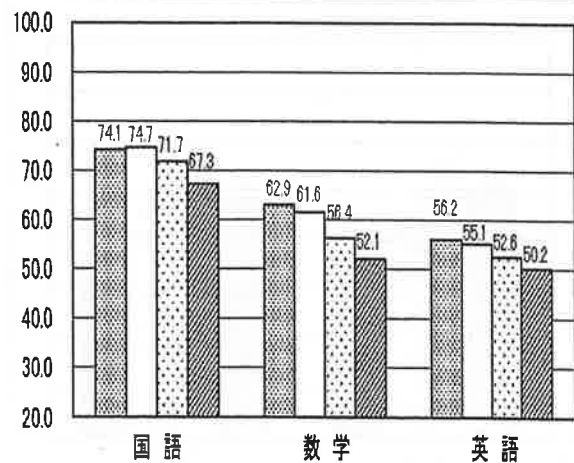
【小学校】 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる

□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



【中学校】 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる

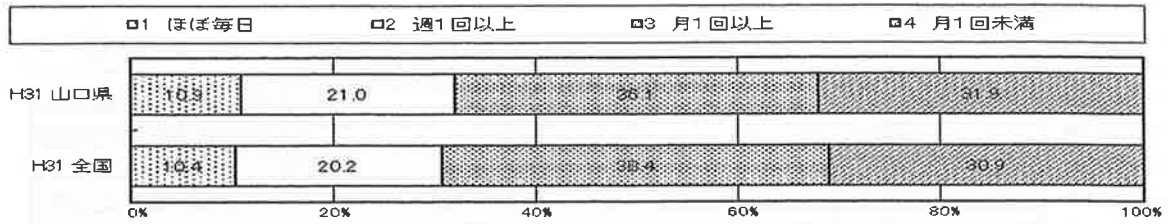
□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



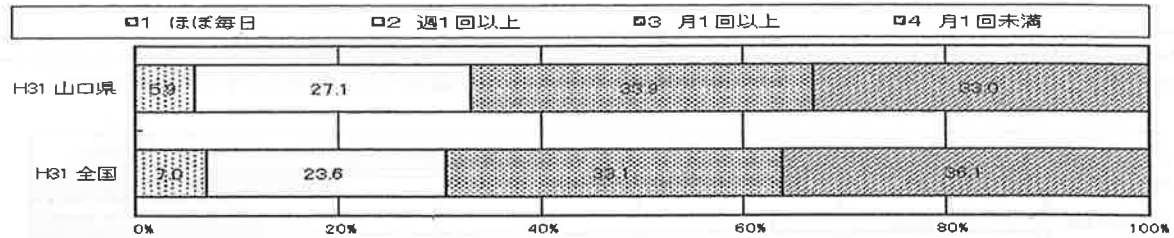
## オ コンピュータなどのICTの活用

○ 前学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用したと回答した指導生徒の割合は、全国と比べて高い。また、授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合は、全国より高い。

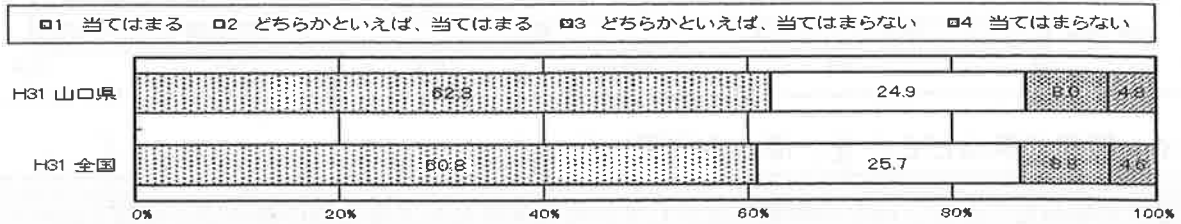
【小学校】 (27) 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用したか



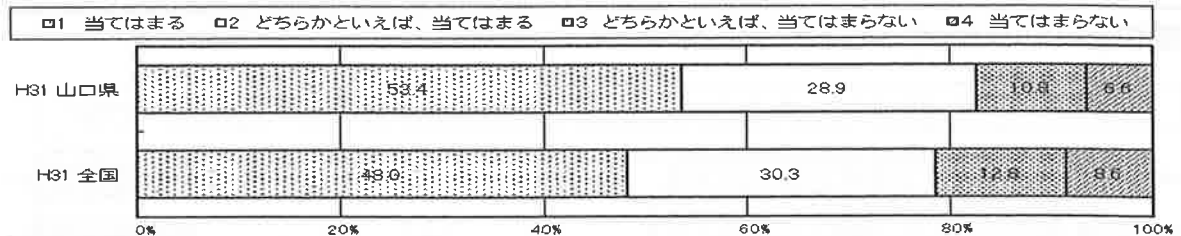
【中学校】 (30) 1、2年のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用したか



【小学校】 (28) 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う

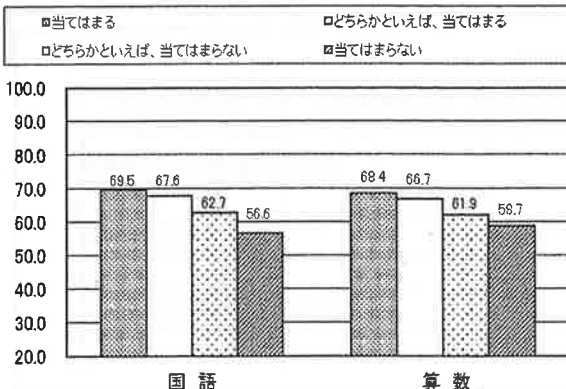


【中学校】 (31) 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う

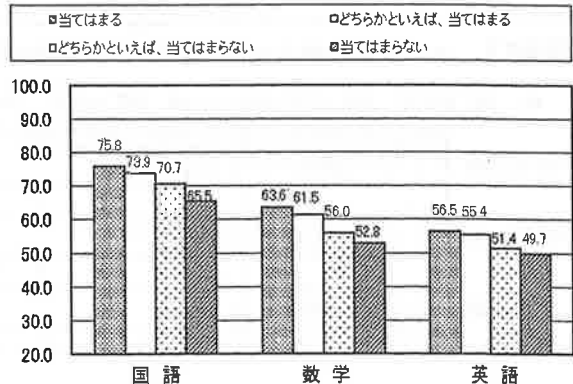


### [教科の正答率との関係]

【小学校】 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う



【中学校】 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う

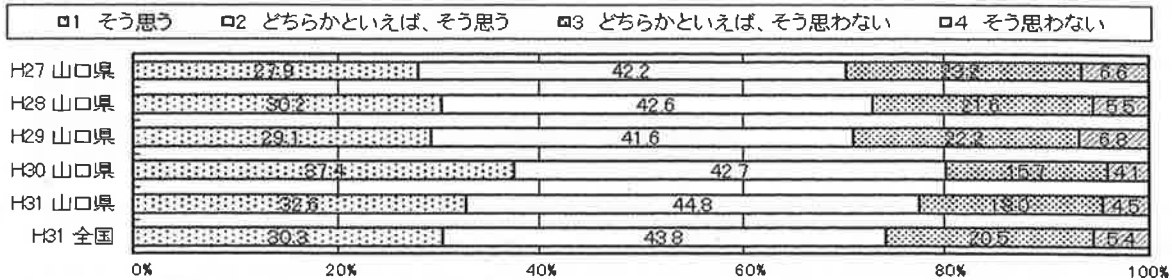


### ③ 学びに向かう姿勢

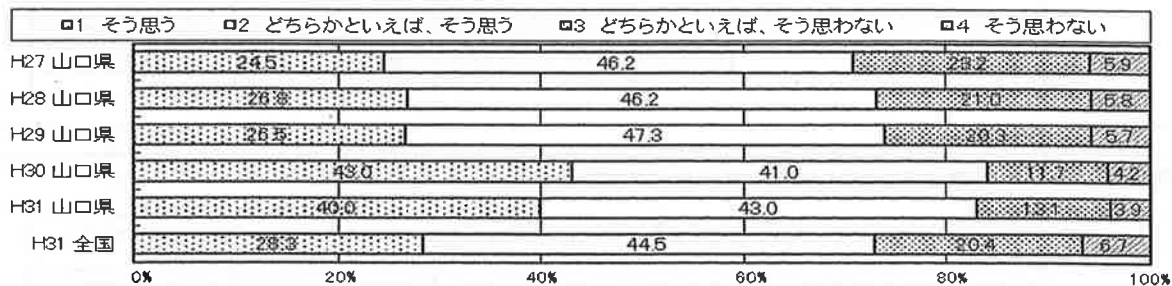
#### ア 話し合いで自分の考えを深めたり広げたりする

● 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

【小学校】 (29)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



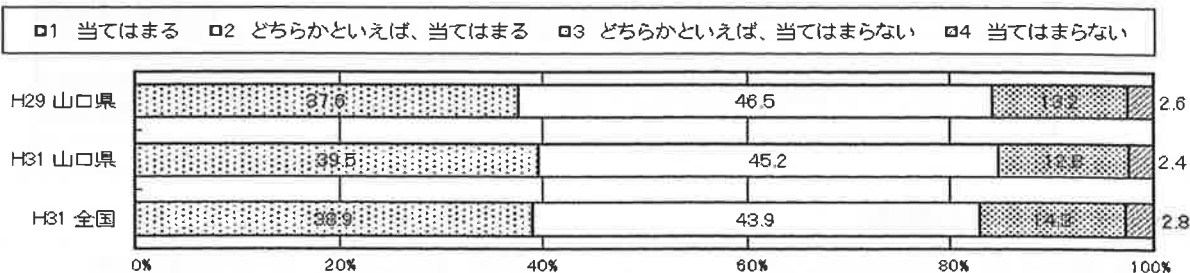
【中学校】 (32)生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



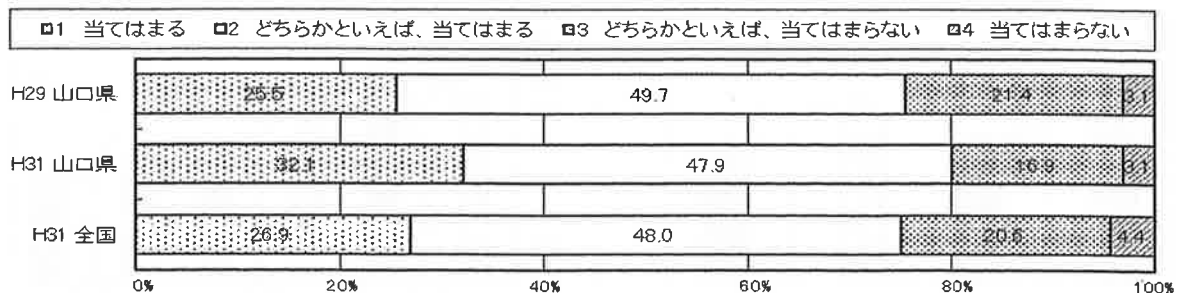
#### イ 授業で学んだことを、ほかの学習に生かす

○ 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高く、増加している。

【小学校】 (30)授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている



【中学校】 (33)授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている

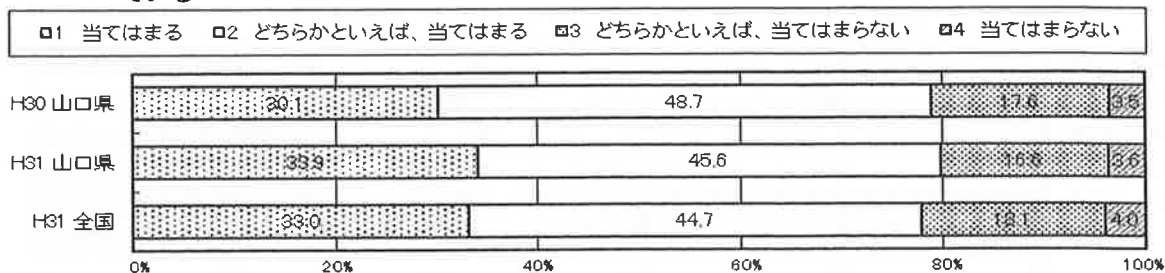




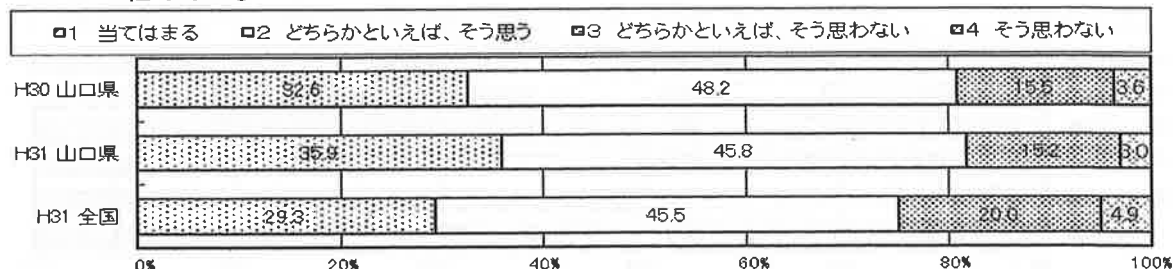
## ウ 課題の解決に向けた主体的な取組

- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む子どもの割合は、全国と比べて高く、増加している。

【小学校】 (35) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



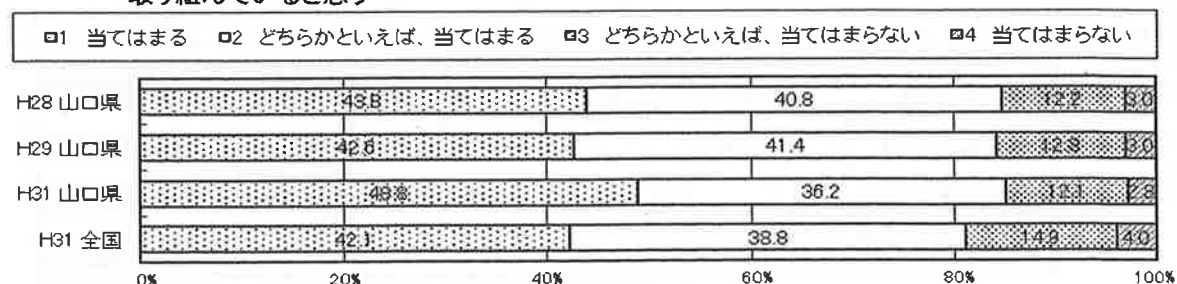
【中学校】 (37) 1、2年のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



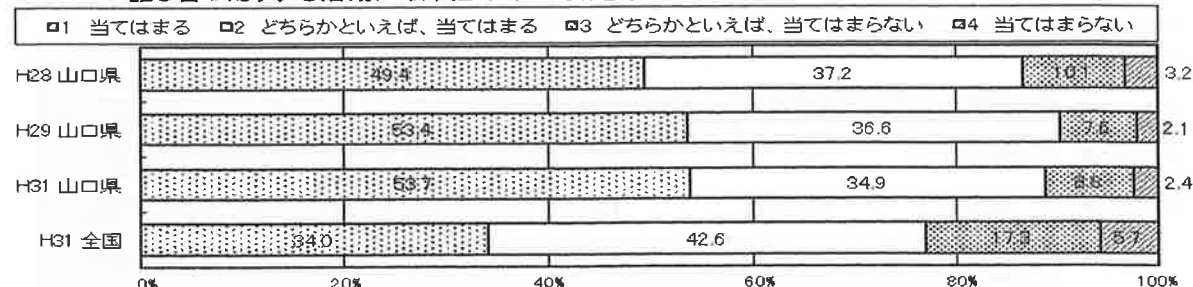
## エ 道徳の時間で考えを深める、グループで話し合う

- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 (34) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う



【中学校】 (39) 1、2年のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う

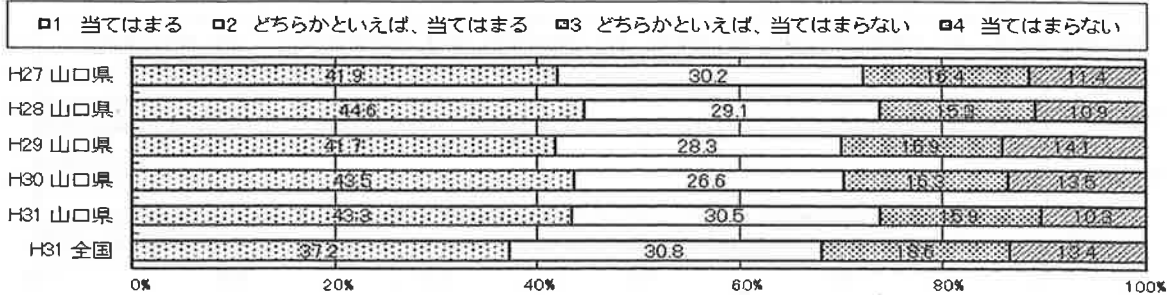


④ 地域や社会との関わり

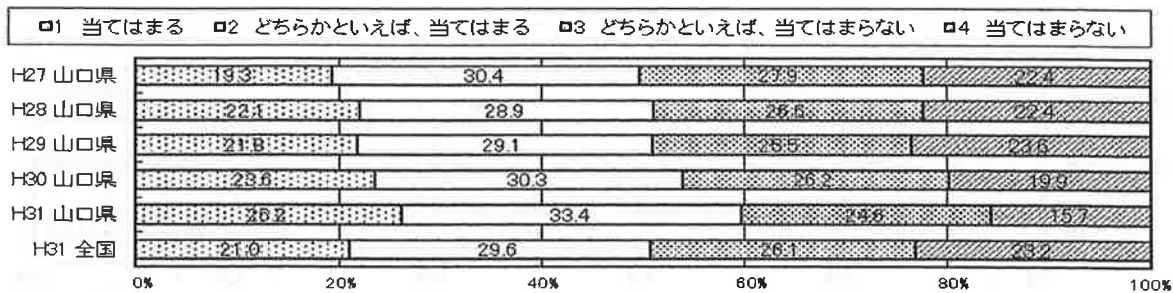
ア 地域行事への参加

○ 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 (23) 今住んでいる地域の行事に参加している



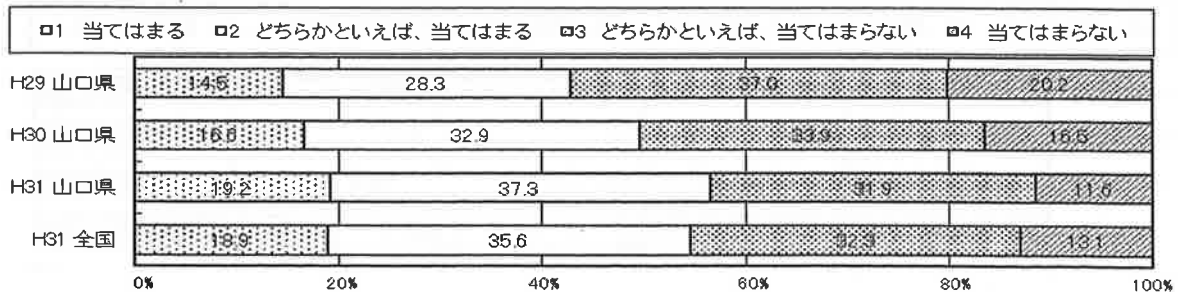
【中学校】 (23) 今住んでいる地域の行事に参加している



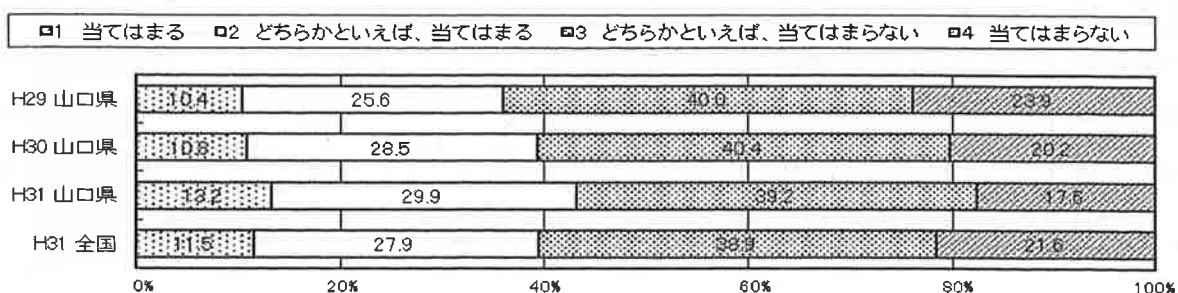
イ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える

○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。

【小学校】 (24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



【中学校】 (24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



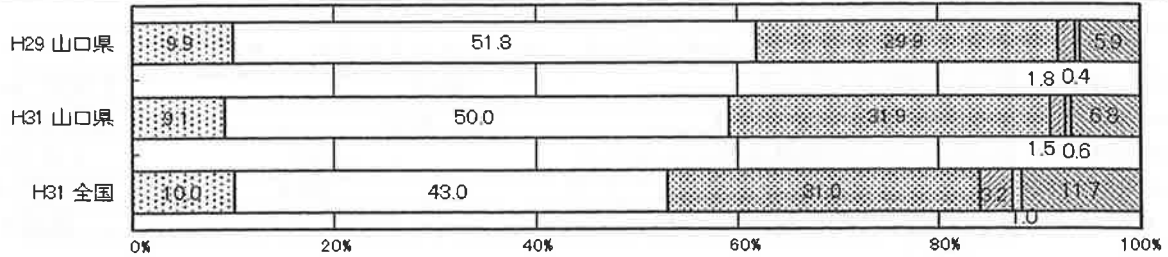
⑤ 部活動・英語（中学校のみ）

ア 1日当たりの部活動時間

- 普段の1日当たりの部活動時間については、改善傾向が見られるが、依然として2時間以上部活動をしていると回答した生徒の割合が高い。

【中学校】 (28) 普段、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしているか

□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない

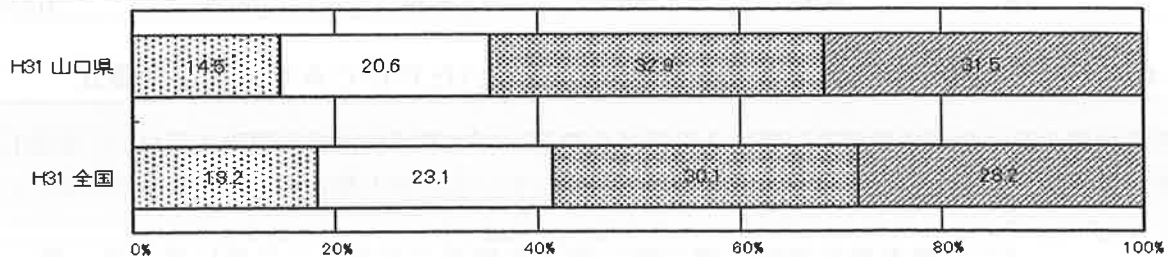


イ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい

- 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいという生徒の割合は、全国と比べて低い。

【中学校】 (59) 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



(2) 学校質問紙

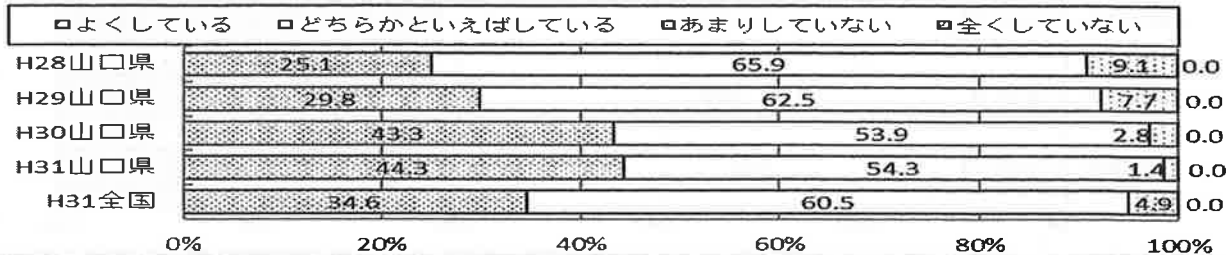
① 教育課程

ア 横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成

○ 指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合は全国と比べて高く、増加傾向にある。

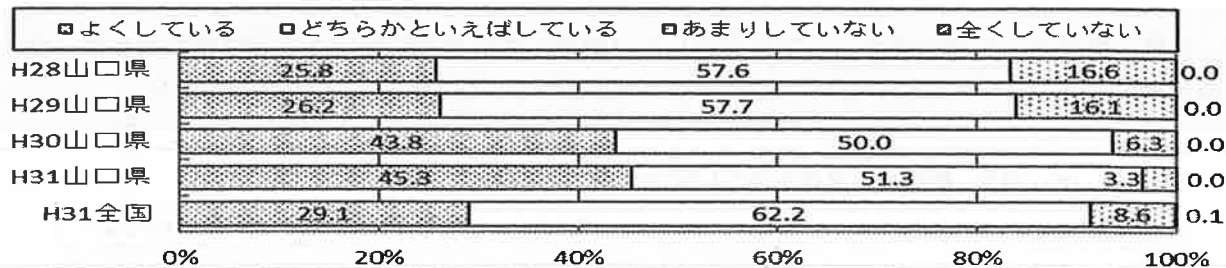
【小学校】

15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



【中学校】

15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している

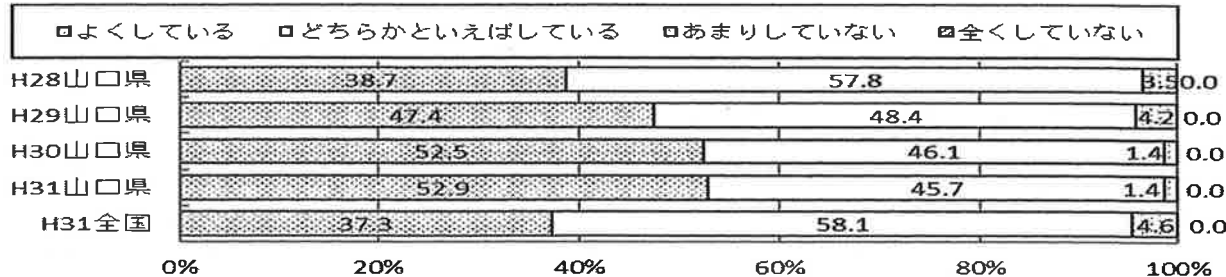


イ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

○ 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合は、全国と比べて高い。

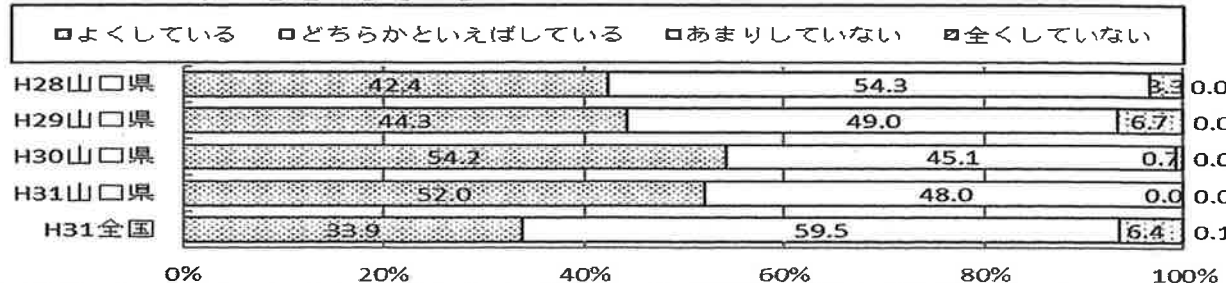
【小学校】

17 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



【中学校】

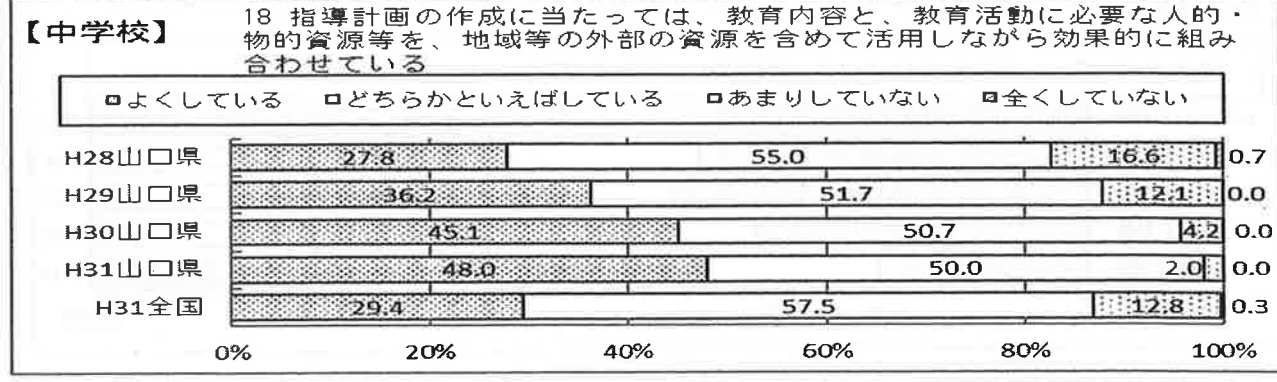
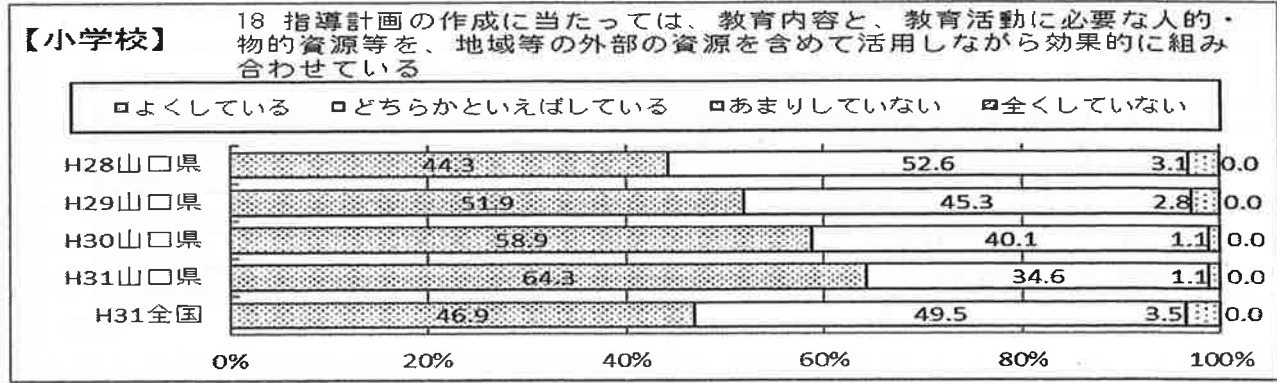
17 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している





ウ 地域等の外部の資源を含めた人的・物的資源を活用した指導計画の作成

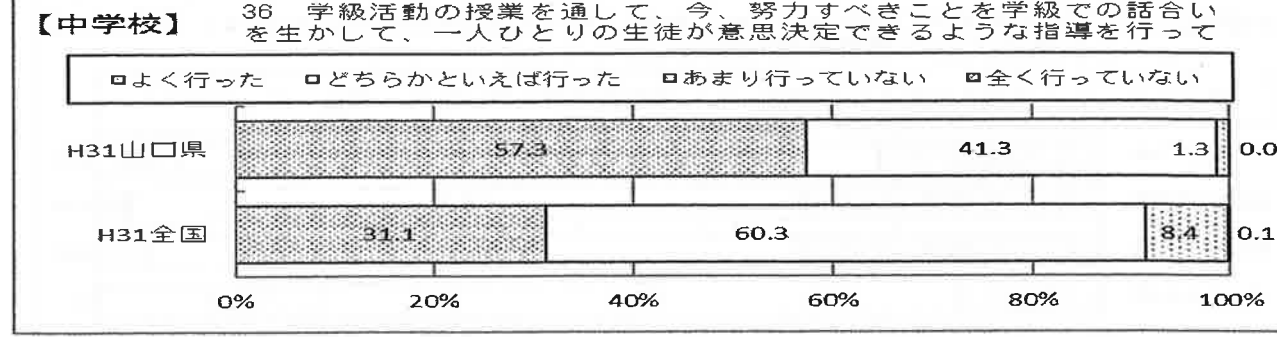
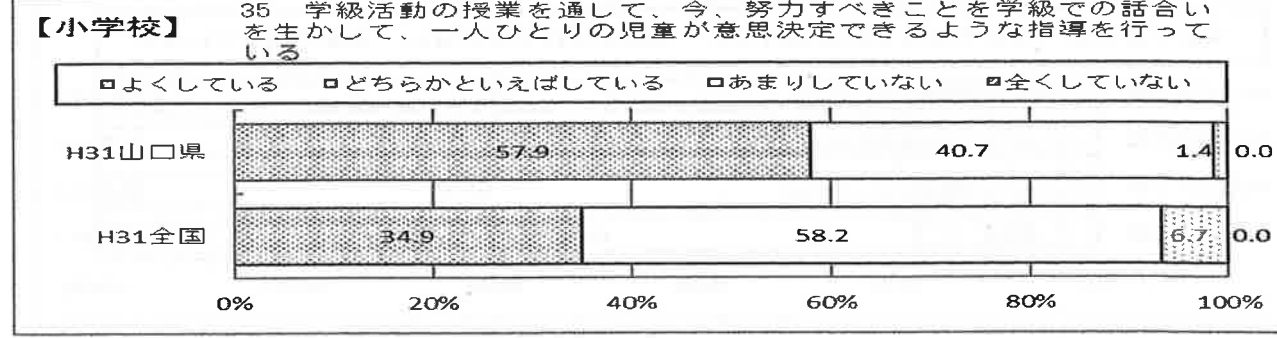
○ 指導計画の作成に当たって、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。



② 学習指導

ア 学級での話し合いを生かした、児童生徒一人ひとりが意思決定できるような指導

○ 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人ひとりの児童生徒が意思決定できるような指導を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

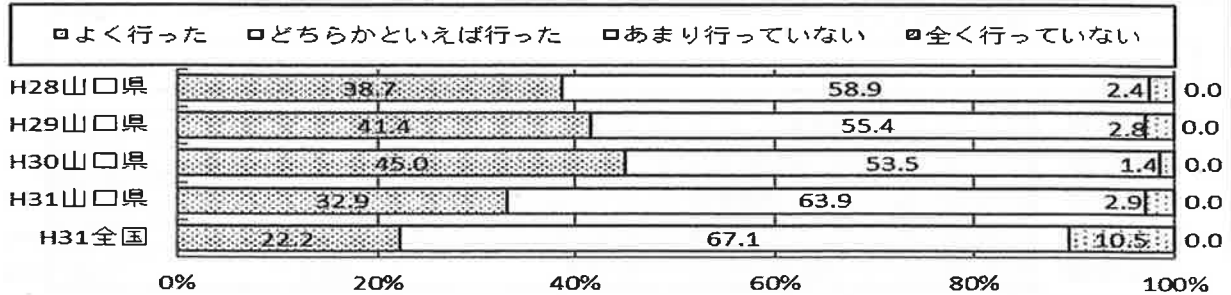


イ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫

- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

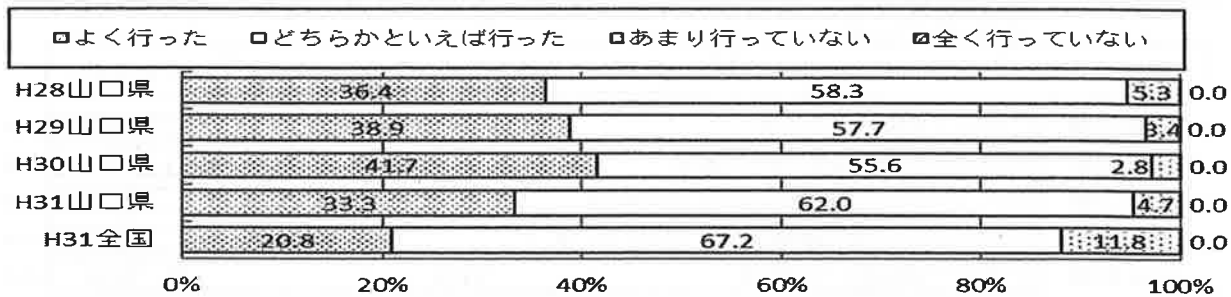
【小学校】

37 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした



【中学校】

37 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

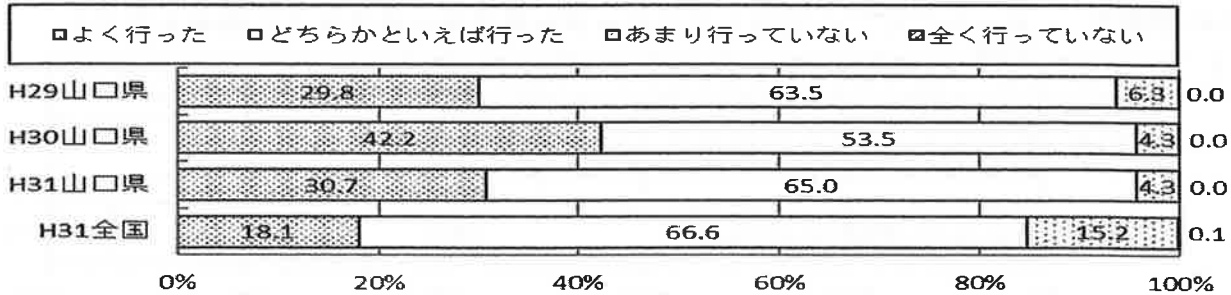


ウ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定

- 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合は全国と比べて高いものの、特に小学校において前年度より減少している。

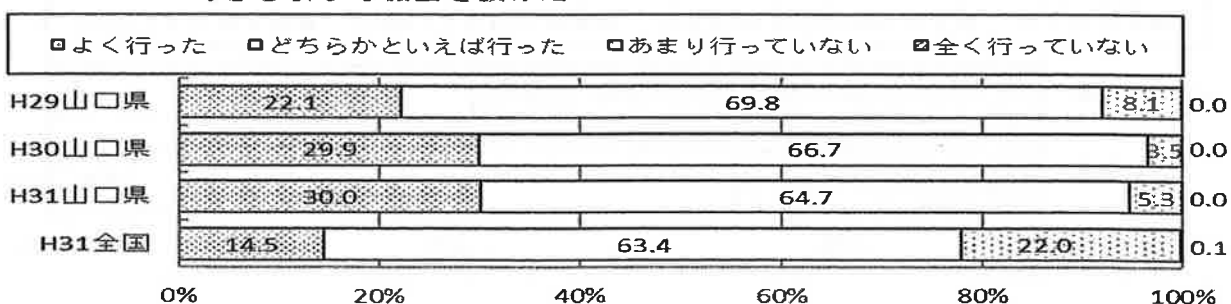
【小学校】

38 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



【中学校】

38 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

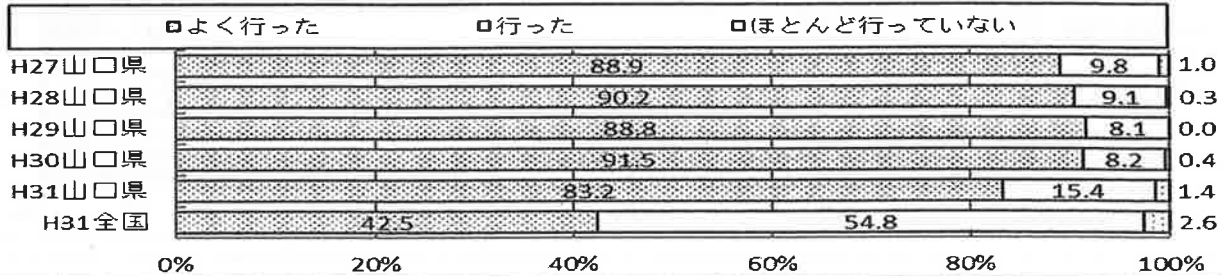


## エ 学校全体で教育活動を改善するための調査結果の活用

- 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した学校の割合は、全国と比べて高いものの前年度より減少している。

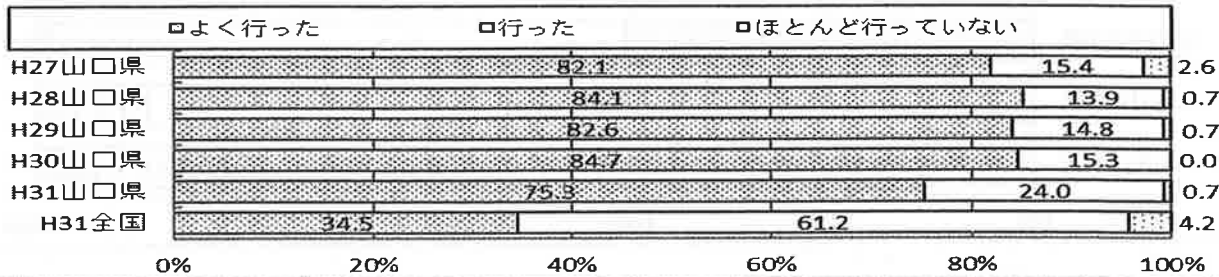
### 【小学校】

63 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した



### 【中学校】

79 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した

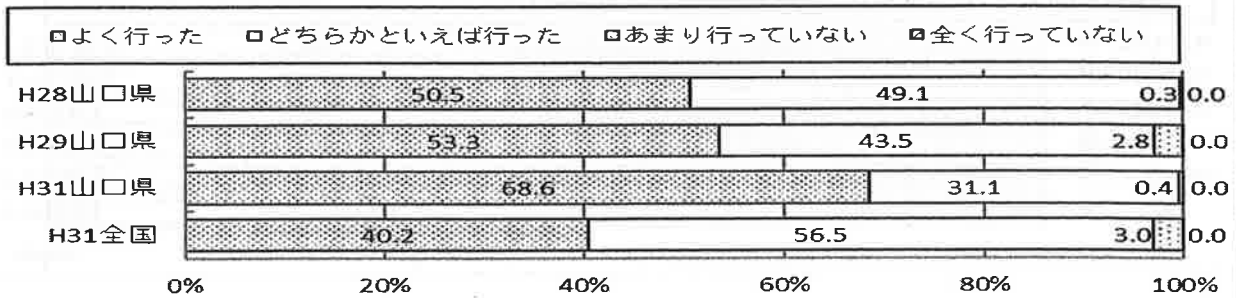


## オ 道徳の時間における考え、話し合う指導

- 特別の教科 道徳の時間において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合う指導をした学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。

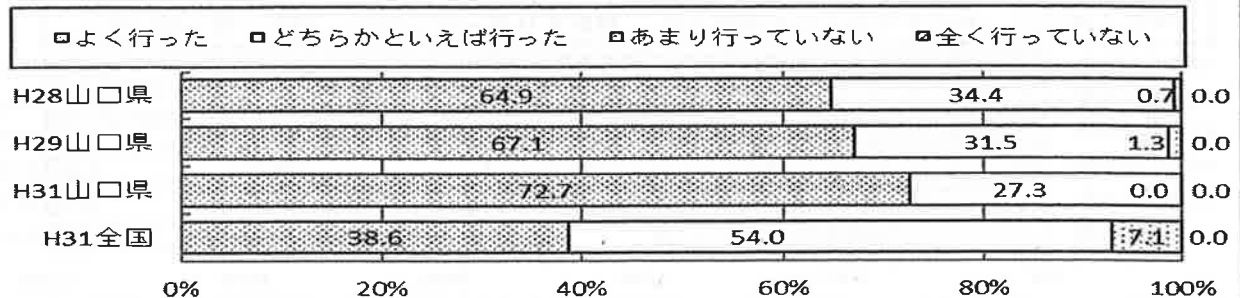
### 【小学校】

36 特別の教科 道徳の時間において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合う指導をした



### 【中学校】

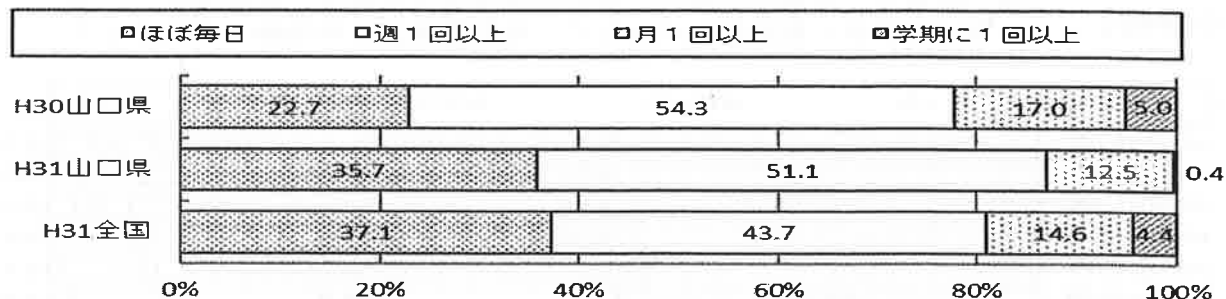
39 道徳の時間において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をした



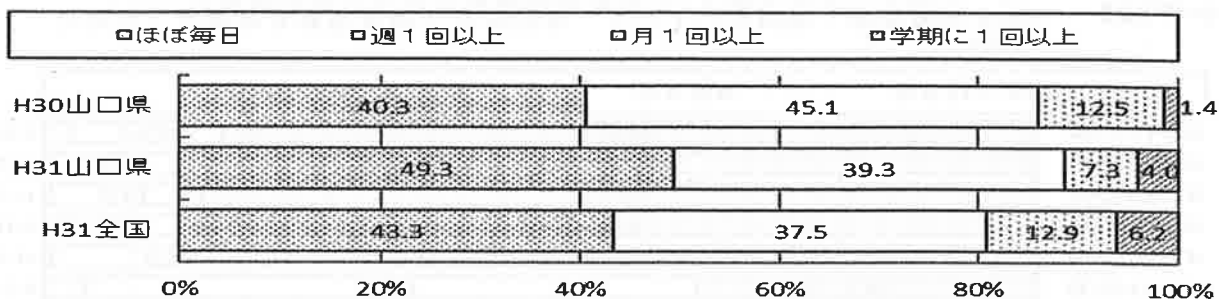
## カ ICTを活用した授業の実施

- 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業をほぼ毎日行っている学校の割合は、前年度より増加している。

【小学校】 49 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか



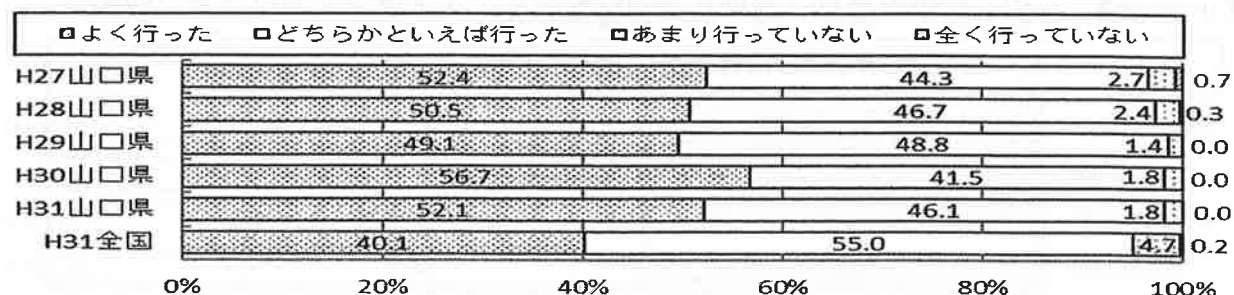
【中学校】 63 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか



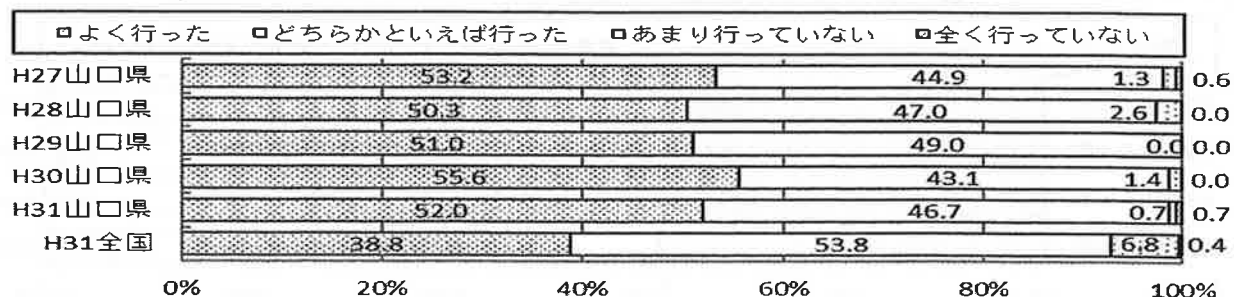
## キ 特別支援教育についての理解と、児童の特性に応じた指導の工夫

- 教員が、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

【小学校】 50 学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行った



【中学校】 64 学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った

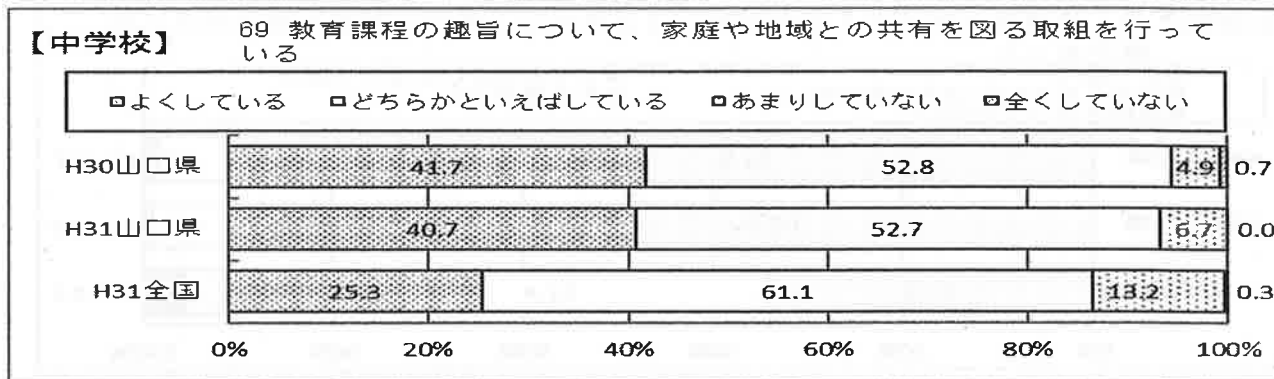
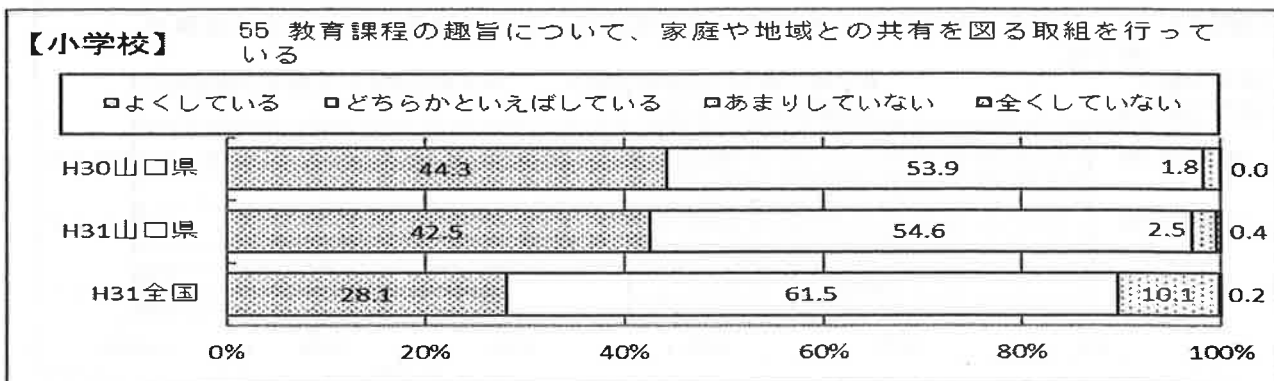




### ③ 地域との連携

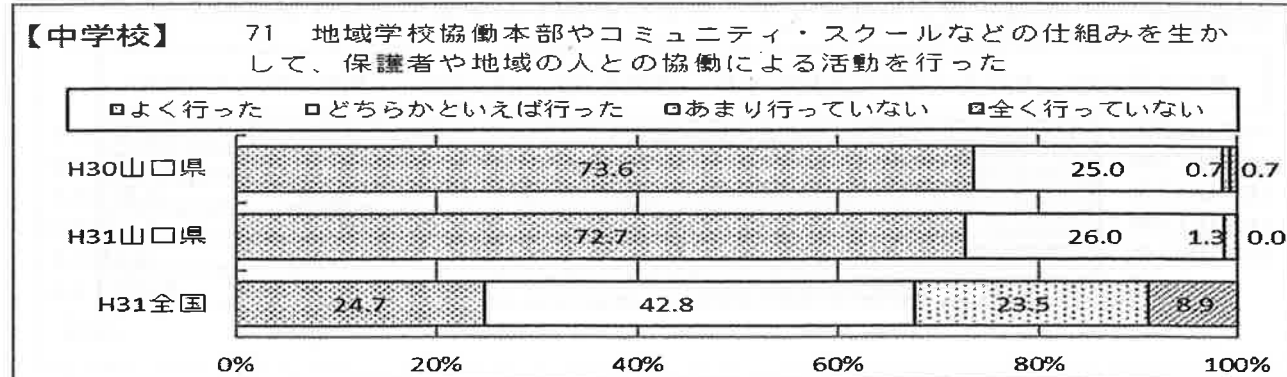
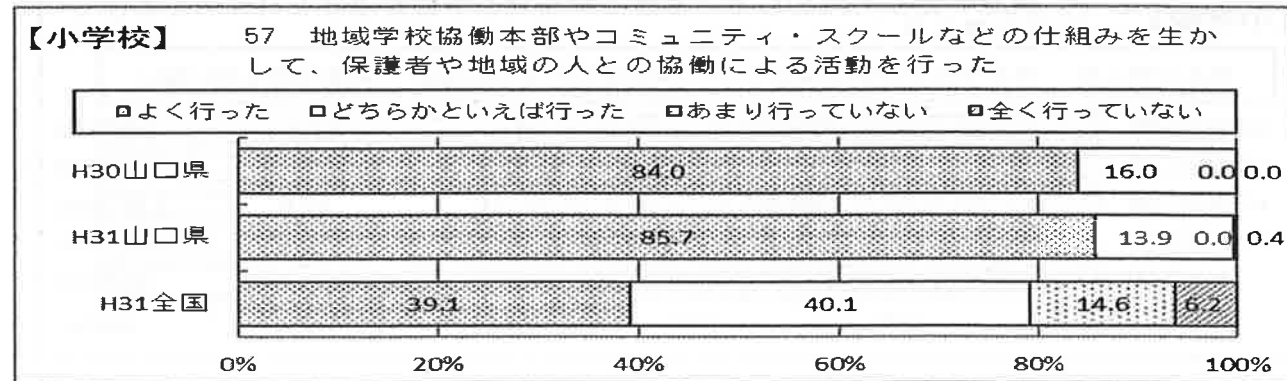
#### ア 教育課程の趣旨について、家庭や地域と共有する取組

- 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。



#### イ 保護者や地域の人との協働による活動の実施

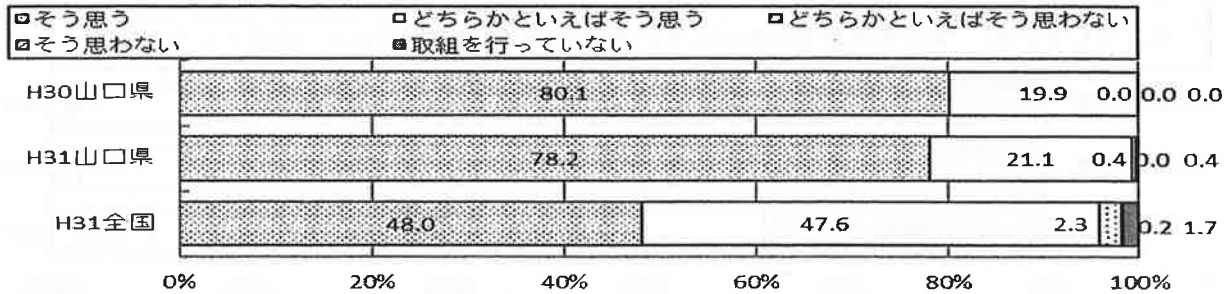
- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合は、全国と比べて高い。



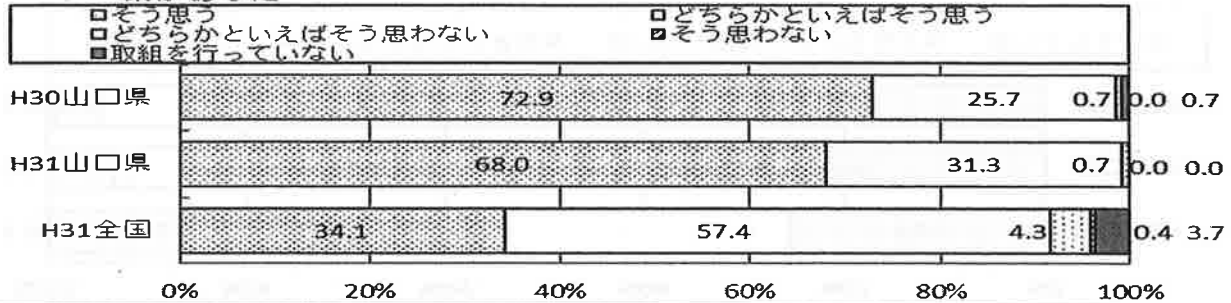
## ウ 学校の教育水準の向上への効果

- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

【小学校】 58 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった



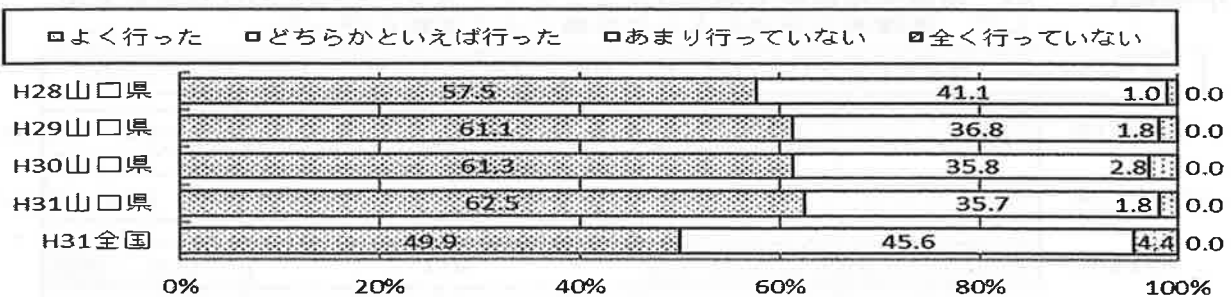
【中学校】 72 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった



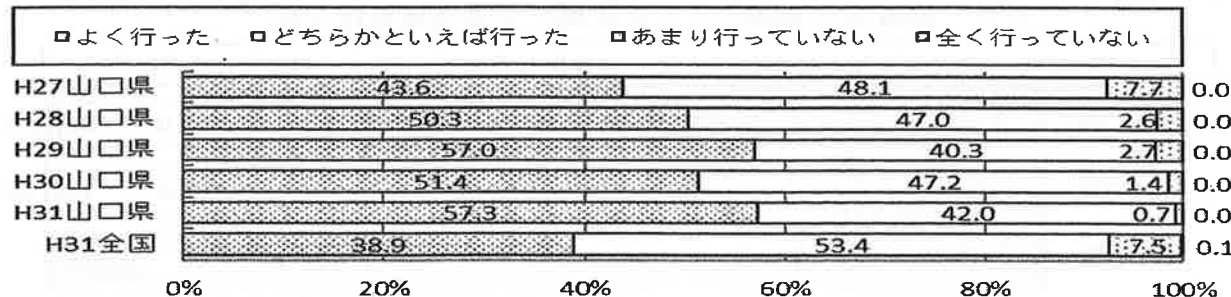
## エ 家庭での学習方法等の具体的な説明

- 家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 60 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



【中学校】 74 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



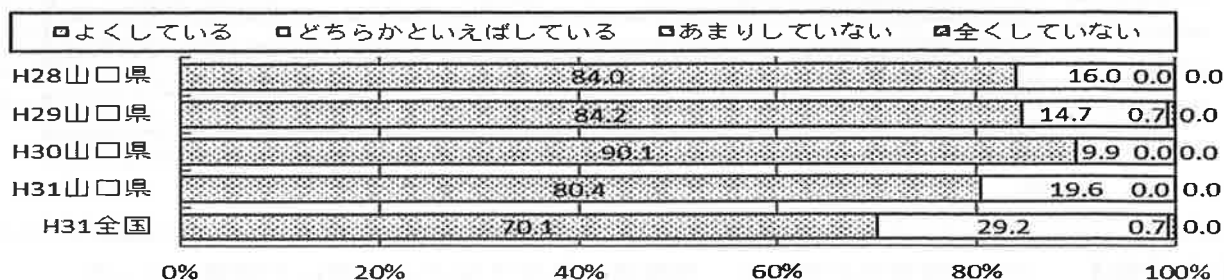
#### ④ 教員研修・教職員の取組

##### ア 校内研修の実施計画と整備と、組織的、継続的な研修の実施

- 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている学校の割合は、全国と比べて高いが、前年度より減少している。

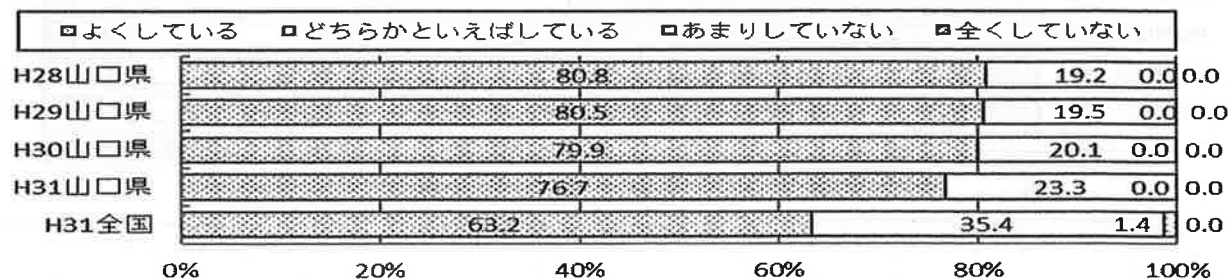
###### 【小学校】

22 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



###### 【中学校】

23 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



##### イ 校内外の研修や研究会に参加した成果を教育活動に積極的に反映

- 教職員が校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

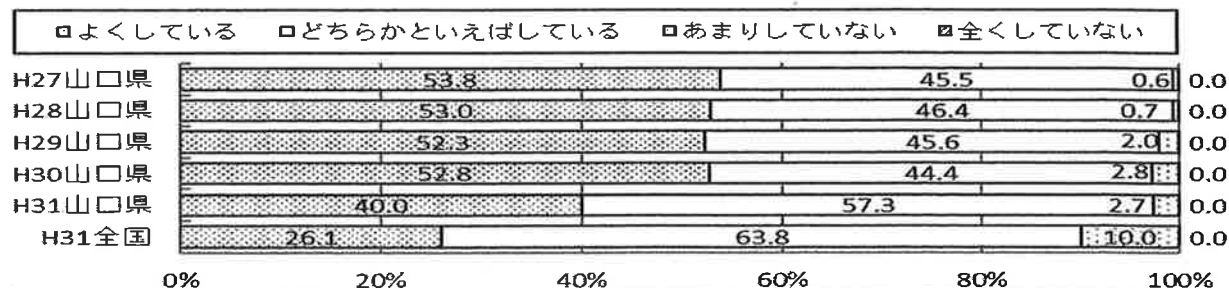
###### 【小学校】

27 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている



###### 【中学校】

28 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている

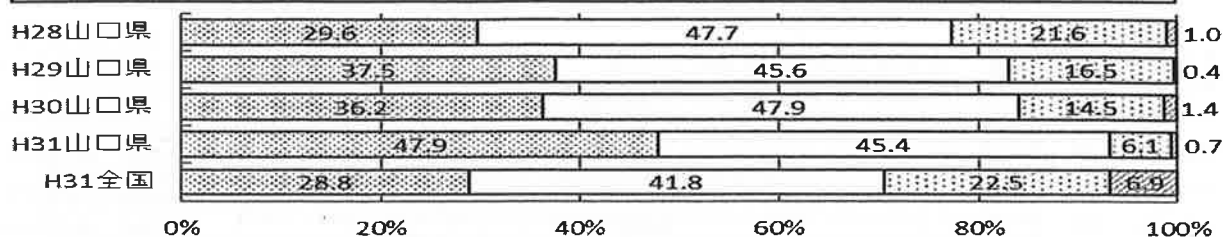


## ウ 近隣等の小（中）学校との合同研修会の実施

○ 近隣等の小（中）学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている学校の割合は、全国と比べて高く、前年度より増加している。

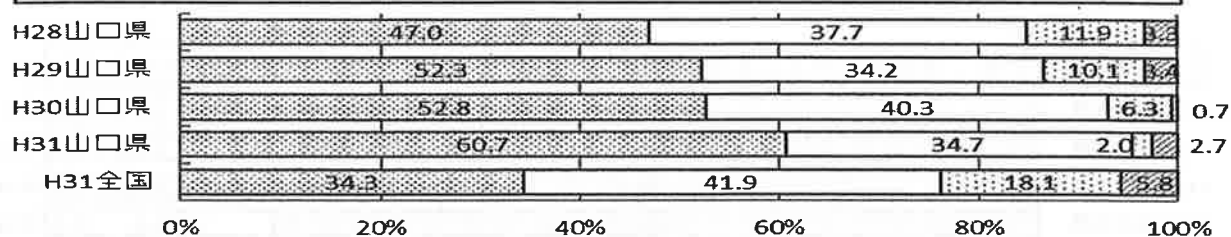
【小学校】 52 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない



【中学校】 66 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない

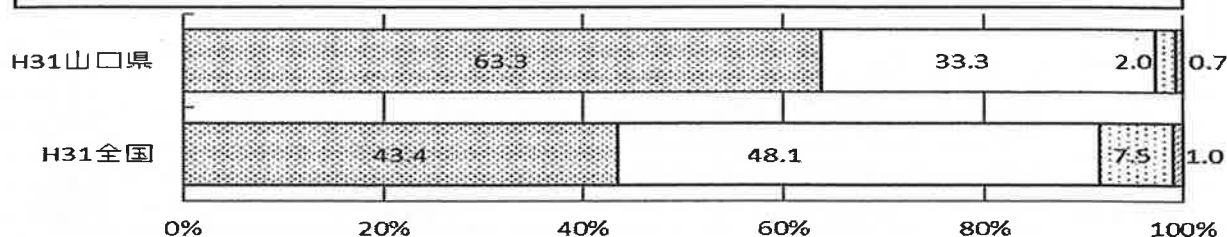


## エ 部活動のあり方の見直し（中学校のみ）

○ 部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている学校の割合は、全国と比べて高い。

【中学校】 22 部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている

□よくしている □どちらかといえばしている □あまりしていない □全くしていない





### 3 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

- ◆「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点から、それぞれの取組を推進する。
- ◆新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

は今回の調査結果に関連する部分

#### 学校の組織力の充実

- ◆全校体制によるカリキュラム・マネジメント
  - ・教育課程説明会、管理職教育課程研修会、教育課程研究指定校研究発表会等の成果復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆全校体制による年間2回の検証改善サイクルの活用
  - ・全国調査と学力定着状況確認問題の活用による課題解決に向けた取組の検証、改善
- ◆分析結果を活用した課題の焦点化と課題解決
  - ・調査結果の分析結果による、研修の改善、学力向上に向けた取組の充実、学び直しや家庭学習の充実等の推進
- ◆校内研修の活性化による組織的な授業改善
  - ・校長のリーダーシップによる、組織的・継続的な研修の推進
  - ・「学習指導要領の手引き」等、県教委作成資料の活用、小学校における授業交換や専科指導の活用による教科担任制の推進、中学校における生徒による授業評価の推進等
- ◆きめ細かな指導体制づくり
  - ・35人学級化や少人数指導加配等の配置を活用したきめ細かな指導（よいところを認める、分からないところを教える等）の充実
  - ・全教職員や地域人材の活用による組織的な補充学習の促進

#### 教員の授業力の向上

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善実践研究事業の推進と成果の普及
  - ・習得、活用、探究の学習過程の機会の設定、話し合いで考えを深め広げる力や、身に付けたことを他の学びに生かしたりする力の育成に向けた指導の充実
  - ・特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導の工夫
- ◆教科の専門性やキャリアステージに応じた研修
  - ・若手・中堅・管理職を対象とした各研修会の成果の復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆やまぐち総合教育支援センターとの連携
  - ・「やまぐち総合教育支援サイト」等の学習指導用資料の活用促進
- ◆校内研修等の充実による授業改善
  - ・学力向上推進リーダー等を活用した校内研修の充実
  - ・英語教育推進教員、小学校英語専科教員を活用した、統合的な英語力の育成や意欲向上に向けた授業改善

#### 学校・家庭・地域の連携力の強化

- ◆「やまぐち型地域連携教育」の仕組みの活用
  - ・学校運営協議会における、学力課題の共有や課題解決のための熟議の促進
  - ・地域の子どもの自己肯定感の向上、いじめ撲滅、読書活動の推進等に向けた啓発活動の充実
  - ・地域人材の参加によるユニット型研修の促進
  - ・教育課程の趣旨の共有及び、地域連携による学校教育水準の向上の検証、改善
  - ・(中学校のみ)部活動改善の方針の共有
- ◆情報共有による学習習慣の確立
  - ・PTA組織や家庭への情報提供等による連携強化、学力分析支援ツールによる個人票の活用による、家庭学習（時間の確保、自分で計画を立てる等）習慣の向上
  - ・補充学習等における「やまぐちっ子学習プリント」の活用促進
- ◆異校種間連携の充実による学習環境づくり
  - ・小中連携授業力向上実践研究校、小中高連携英語教育推進校・連携校による研究の推進
  - ・小中連携カリキュラムや地域連携カリキュラム作成等による小中一貫教育の推進

